京都光華女子大学学則

(2023年度)

京都光華女子大学学則

第1章 総則

- 第1条 本学は教育基本法に基づき、学校教育法に定める大学として学術を研究教授し、広く文化の進展に寄与するとともに、仏教精神により円満なる人格を 涵養し、もって有為なる女性を育成することを目的とする。
- 第2条 前条の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自己点検・評価を実施し、教育研究水準の向上を図るものとする。
 - 2 前項の点検・評価の項目、実施体制については別に定める。

第2章 学部・学科及び学群

第3条 本学に次の学部・学科及び学群を置く。

キャリア形成学部 キャリア形成学科

健康科学部健康栄養学科

看護学科

心理学科

医療福祉学科

こども教育学部

こども教育学科

人間健康学群

- 2 人間健康学群は、大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第42条の3 の2に定める学部等連係課程実施基本組織として設置し、キャリア形成学部、 健康科学部、こども教育学部の連携及び協力によって教育を実施するものと する。
- 第4条 本学の学生定員は次のとおりとする。

		入学定員	収容定員
キャリア形成学部	キャリア形成学科	90名	360名
健康科学部	健康栄養学科		
	管理栄養士専攻	80名	320名
	健康スポーツ栄養専攻	40名	160名
	健康スポーツ栄養専攻編	入学 4名	8名
		【4名】	【8名】
	看護学科	85 名	340名
	心理学科	60名	240名
	医療福祉学科		
	社会福祉専攻	30名	120名
	言語聴覚専攻	30名	120名
こども教育学部	こども教育学科	80 名	320名
		【10名】	【40名】

人間健康学群 12 名 48 名

なお、人間健康学群の入学定員及び収容定員は、健康科学部健康栄養学科健康スポーツ栄養専攻の編入定員及びこども教育学部こども教育学科の定員の内数とし、【】は各学科及び専攻における人間健康学群に係る内数を表す。

第5条 本学の学科ごとの人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的は以下 のとおりである。

(1)キャリア形成学科

女性としての生き方・働き方を確立し、多様な業界・業種で活躍できる就業力を持つ女性を育成する。その実現のために、自立した女性職業人としてキャリアを継続、発展できる力や汎用的なスキルを習得し、組織で活動するために必要なビジネス基礎知識とマネジメント技法を習得する。また、プロジェクト型の学習を通じて、スキルや知識を実践で活用する応用力を習得し、チームで協働して新たな価値を生み出す組織運営力や企画推進力を発揮できる人材を育成する。

(2)健康栄養学科

管理栄養士専攻は、生活習慣病の予防に関する健診後の栄養指導面、医療現場におけるチーム医療に関わる臨床栄養面について、その知識・技術の資質向上を目指し、より実践的な栄養学を推進していくことができる管理栄養士を育成する。健康スポーツ栄養専攻は、生活習慣病の予防に関して、生涯を通して実践できるさまざまな指導と、栄養・食生活指導との一体的なプログラムの開発や、効果的な教材の開発、社会的な普及・啓発活動を推進していく人材を育成する。

(3) 看護学科

仏教看護の理念を背景に、豊かな人間性と高度な看護学の知識・技術及び倫理観を持つ、自立した資質の高い看護専門職として看護師・保健師・養護教諭の育成を図る。その実現のために、保健・看護・福祉・医療を包括した地域の人の健康に貢献し、対象者の視点に添う質の高い看護サービスの提供が求められることから、環境の変化に応じた教育内容を整備し、学生が仏教精神による豊かな感性及び高い倫理性を備え、自律して問題解決能力を可能とする看護実践能力をも習得した人材を育成する。

(4) 心理学科

心理学科では、「心理・社会学的なデータ収集と解析方法の習得」、「社会(組織)人としての問題発見・解決スキルの習得」、「コミュニケーション・人間関係形成能力の習得」、「心理的または福祉的な専門援助法の習得」の4つの教育目標を通し、地域社会と発展的に関わっていける人材の育成を目標とする。その実現のために、心理学の専門性に基づく能力の習得を通して、心の健康という観点から人と社会(組織)に関わっていける実践力を身につけた人材を育成する。

(5)医療福祉学科

社会福祉専攻では、建学の精神である仏教精神に基づいた深い人間理解と

人間尊重の精神を基礎に、社会福祉を総合的・学際的に教育することを基本的な考え方とし、社会福祉、医療、リハビリテーション等に関心を持ち、社会福祉を中心にして、それらに関連する知識・技術・倫理の学修を目指す人材を育成することを目標としている。言語聴覚専攻では、臨床医学、臨床心理学や高次脳機能障害学、実証的な言語障害学の学習を基盤としつつ、言語発達学、聴覚障害学など言語聴覚療法に必要な学問を学際的に広範かつ実践的に学び、言語聴覚士国家試験受験資格を取得し、合格後言語聴覚士として医療や福祉・教育現場で活躍しうる人材を育成する。

(6)こども教育学科

こども教育学科では、幅広い教養、子どもの特性とその教育・保育に関する深い専門知識ならびに高い教育・保育実践力を持った教員・保育者を養成する。そのために、総合的な子ども研究とその成果による教育を推進する。さらには、そうした知識や技術を活かす基盤として、建学の精神である思いやりの心、すべての人との縁を大切にする心、幼き者を慈しむ心を以て、子どもや保護者あるいは関係諸機関と適切で緊密なコミュニケーションを取り得る人材を育成する。

(7)人間健康学群

人間健康学群では、人の健康の維持・増進に関わる課題を総合的に考え解決に導くために、WHOが提唱する健康の定義の考え方(健康とは、肉体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病または病弱が存在しないことではない)に基づき、身体的健康・精神的健康・社会的健康に関わる知識と技能を修得し、人の生涯に渡る健康の維持・増進、延いては社会全体の健康の維持・増進をマネジメントできる能力を修得した人材を養成する。

第3章 専攻科

- 第6条 本学に次の専攻科を置く。
 - 助産学専攻科
 - 2 専攻科に関する規則は別に定める。

第4章 教育課程

- 第7条 授業科目は基礎・教養教育に関連する科目、専門教育に関連する科目及び 教職に関する科目に分ける。
 - 2 授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかによりまたは、 これらの併用により行うものとする。
 - 3 前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディア を高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることがで きる。
- 第8条 各授業科目及び単位数は別表1のとおりとする。
- 第9条 授業科目は必修科目と選択科目とし、別表2に示す単位以上の単位を履 修しなければならない。

- 第 10 条 各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じて、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算する。
 - (1)講義及び演習については、15 時間から30 時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実験・実習・実技については、30 時間から 45 時間の授業をもって 1 単位とする。
 - 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等については、これらに必要 な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。
- 第11条 1年間の授業日数は、定期試験の期間を含め、35週にわたるものとする。 第12条 教員免許状を得ようとする者は、第9条の規定によるほか、教職に関する 科目について、教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目を履修し、所 定の単位を修得しなければならない。
 - 2 本学の学部の学科において取得できる教員免許状の種類は次のとおりとする。

健康科学部

健康栄養学科

管理栄養士専攻 栄養教諭 1 種免許状健康スポーツ栄養専攻 栄養教諭 2 種免許状

保健体育 中学校教諭 1 種免許状・高等学校

教諭1種免許状

看護学科 養護教諭 1 種免許状

こども教育学部

こども教育学科 幼稚園教諭 1 種免許状

小学校教諭 1 種免許状

- 第13条 健康科学部健康栄養学科の学生で栄養士免許証を得ようとする者は、第9 条の規定によるほか、栄養士法、同法施行令及び同法施行規則に定める科 目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。
 - 2 健康科学部健康栄養学科の学生で管理栄養士国家試験受験資格を得ようとする者は、前項によるほか、管理栄養士学校指定規則に定める科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。
 - 3 健康科学部看護学科の学生で看護師及び保健師国家試験受験資格を得よ うとする者は、第9条の規定によるほか、保健師助産師看護師法、同法施行 令及び同法施行規則に定める科目を履修し、所定の単位を修得しなければな らない。
 - 4 健康科学部看護学科の学生で看護師及び保健師国家試験受験資格を得よ うとする者は、前項によるほか、看護師保健師助産師学校養成所指定規則に 定める科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。
 - 5 健康科学部心理学科の学生で公認心理師国家試験受験資格を得ようとする者は、第9条の規定によるほか、公認心理師法及び同施行規則に定める科

目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

- 6 健康科学部心理学科の学生で、保育士の資格を得ようとする者は、第 9 条の規定によるほか、児童福祉法及び同法施行規則に定める科目を履修し、 所定の単位を修得しなければならない。
- 7 健康科学部医療福祉学科社会福祉専攻の学生で社会福祉士国家試験受験 資格を得ようとする者は、第9条の規定によるほか、社会福祉士介護福祉士 法及び同法施行規則に定める科目を履修し、所定の単位を修得しなければな らない。
- 8 健康科学部医療福祉学科社会福祉専攻の学生で精神保健福祉士国家試験 受験資格を得ようとする者は、第9条の規定によるほか、精神保健福祉士法 及び同法施行規則に定める科目を履修し、所定の単位を修得しなければなら ない。
- 9 こども教育学部こども教育学科の学生で、保育士の資格を得ようとする者は、 第 9 条の規定によるほか、児童福祉法及び同法施行規則に定める科目を履 修し、所定の単位を修得しなければならない。

第5章 卒業の要件等

- 第14条 本学の修業年限は4年とする。ただし、在学年限は8年を超えることができない。
- 第15条 履修した授業科目には試験を実施し、合格した科目には単位を認定する。 第16条 試験の方法は筆記試験、口述試験、論文考査、実技試験の4種とする。
 - 2 試験の成績は100点を最高とし、60点以上を合格とする。成績評価は次の評語によるものとする。

合格 秀(90点以上)

優 (89 点から 80 点まで)

良(79点から70点まで)

可(69点から60点まで)

不合格 不可

- 第17条 やむを得ない事由によって試験に欠席したときは、願出によって追試験を 許可することがある。
- 第18条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が所属する学科以外の学科 における科目を履修させ、60 単位を超えない範囲で単位を修得させること ができる。必要な事項については別に定める。
- 第19条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学または短期大学において修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学において修得したものとみなすことができる。
 - 2 第1項の規定は、学生が外国の大学または短期大学に留学する場合及び外国の大学または短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。
 - 3 第1項及び第2項により与えることができる単位数は、第18条により

修得させた単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

- 第20条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が短期大学または高等専門 学校の専攻科において行う学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本 学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与え ることができる。
 - 2 第1項により与えることができる単位数は、第18条ならびに第19条第1 項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60 単位を超えないものとする。
- 第21条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する以前に大 学または短期大学において修得した単位(科目等履修により修得した単位を 含む。)を本学入学後に修得した単位とみなすことができる。
 - 2 第1項により修得したとみなすことのできる単位数は、編入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第 18 条ならびに第 19 条第1項及び第2項ならびに第20条第2項の単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 第22条 卒業の要件として修得すべき単位数のうち、第7条第3項の授業の方法に より修得する単位は、60単位を超えないものとする。
- 第23条 本学の学生以外の者で本学において開設する授業科目の履修を希望する者 があるときは、本学の教育に支障がない場合に限り履修を許可することがあ る。
 - 2 第1項において、他大学または短期大学に在学する者で本学とその大学または短期大学との協議に基づき受入れる者は単位互換履修生として、その他の者は科目等履修生として、本学が開設する授業科目の履修を認める。 単位互換履修生及び科目等履修生に関する規程は別に定める。
 - 3 単位互換履修生、科目等履修生として履修した科目には、試験のうえ単位 を認定することができる。ただし、科目等履修生、単位互換履修生としての 期間は在学年数として算定しない。
 - 4 科目等履修生選考料及び科目履修料は別表3のとおりとする。一旦納付した 選考料及び履修料は、これを返還しない。
 - 5 単位互換履修生の授業料等は、その学生の在学する大学または短期大学との 協議に基づき定めるものとする。
- 第24条 本学の学生以外の者で本学において開設する授業科目の聴講を希望する者 があるときは、本学の教育に支障がない場合に限り聴講を許可することがあ る。
 - 2 第1項において、受入れる者は聴講生として、本学が開設する授業科目の 聴講を認める。聴講生に関する規程は別に定める。
 - 3 聴講生として履修した科目については、単位の認定は行わない。
 - 4 聴講生選考料及び聴講料は別表 4 のとおりとする。一旦納付した選考料及び聴講料は、これを返還しない。
- 第25条 本学に4年以上在学して第9条に規定する単位以上を修得した者について

- は、大学運営会議の議を経て卒業を認定し、学長が卒業証書を授与する。
- 2 本学を卒業した者に次の学位を授与する。

キャリア形成学部

キャリア形成学科 学士(教養)

健康科学部

健康栄養学科学士(栄養学)看護学科学士(看護学)心理学科学士(心理学)

医療福祉学科 学士(医療福祉学)

こども教育学部

こども教育学科 学士(こども教育学) 人間健康学群 学士(人間健康学)

第6章 入学・編入学・退学・休学・復学・除籍・再入学・転学部・転学科 復籍

- 第26条 入学の時期は毎学年初めとする。
- 第27条 本学の第1学年に入学することのできる者は、次の各号の一に該当するものとする。
 - (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者
 - (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む)
 - (3)外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに 準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (5) 文部科学大臣の指定した者
 - (6)高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)
 - (7) 本学において(1) と同等以上の学力があると認めた者
 - (8)別に定める外国人留学生規程に該当する者
- 第28条 入学志願者に対しては選考試験を行う。その要項は別に定める。
- 第29条 編入学を志願する者があるときは、大学運営会議の議を経て編入学を許可することがある。その規程は別に定める。
- 第30条 入学志願者は所定の入学願書・出身学校の調査書に別表 5 の入学検定料を 添えて提出しなければならない。一旦提出した出願書類及び検定料は、これ を返還しない。
- 第31条 第28条に定める選考試験に合格した者は、指定期日までに別表6の入学金、 別表7の授業料及び別表8の実験実習料前期分を納付するとともに、所定の 保証書を提出しなければならない。
 - 2 第1項の手続を完了した者に入学許可を与える。

- 3 入学許可を得た者は、指定期日までに所定の健康診断書・住民票記載事項 証明書を提出しなければならない。
- 第32条 保証書には保証人の署名捺印を要する。保証人は入学許可を得た者の保護者とし、その学生の在学中における一切の責に任ずべきものとする。
 - 2 保証人の身分に異動があったとき、または死亡したときは、直ちに届け出 なければならない。
- 第33条 学生が事故もしくは病気によって欠席するときは、その旨届け出なければ ならない。ただし、1週間以上にわたるときは、保証人と連署でなくてはな らない。病気のときは、医師の診断書を添えなければならない。
- 第34条 退学しようとする者は、その事由を具し、保証人連署をもって学長に願 出なければならない。また、在学中に死亡した者は、退学とする。
- 第35条 病気または事故によって引続き3カ月以上修学することのできない者は、 その事由を具し、保証人連署で休学を願出ることができる。
 - 2 病気のため休学するときは、医師の診断書を提出しなければならない。
 - 3 休学は1年を超えることはできない。ただし、特別の事由がある者には、 更に1年以内の休学を許可することがある。
 - 4 休学の期間は通算して4年を超えることはできない。
 - 5 復学しようとする者は、保証人の連署をもって学長の許可を得なければならない。ただし、病気により休学した者が復学しようとするときは、医師の診断書を添えなければならない。
 - 6 休学期間は在学年数に算入しない。
- 第36条 次の各号の一に該当する者は、大学運営会議の議を経て学長が除籍する。
 - (1) 第 14 条に定める在学年限を超えた者
 - (2) 第35条第3項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者
 - (3)正当な理由なく学費の納付を怠る者
 - (4)長期間にわたり行方不明の者
- 第37条 第34条によって退学した者及び第36条によって除籍された者が再入学を 志願するときは、大学運営会議の議を経てこれを許可することがある。その 規程は別に定める。
 - 2 再入学検定料は別表 9 のとおりとする。一旦納付した検定料は、これを返還しない。
- 第38条 転学部・転学科を志願する者があるときは、大学運営会議の議を経てこれを許可することがある。その規程は別に定める。
- 第39条 第36条第1項第3号で除籍された者は、学長の許可を得て、復籍すること ができる。

第7章 学費

- 第40条 授業料等は別表7及び別表8のとおりとし、指定の期日までに納付しなければならない。
- 第41条 授業料等は、出席の有無にかかわらず学籍のある間はこれを納付しなけれ

ばならない。ただし、休学中は別に定める在籍料を納付しなければならない。

第42条 一旦納付した授業料その他の学費は、事情のいかんにかかわらずこれを返還しない。

第8章 職員

- 第43条 本学に学長・学部長・教授・准教授・講師及び助教を置く。その他学務の 処理、学生の補導福祉等のため、事務職員を置く。
 - 2 本学に前項に定めるもののほか、必要に応じて、副学長を置くことができる。

第9章 大学運営会議

- 第44条 本学に大学運営会議(以下「運営会議」という)を設置する。
 - 2 運営会議は、学長、副学長、研究科長、学部長、学群長、教務部長、学生 部長、入学・広報センター長、事務局長、学長戦略推進部学長、学生サポート センター長、及びその他学長が必要と認める者を構成員とする。学長は運営 会議を招集し、その議長となる。
 - 3 拡大運営会議は、前項の構成員に学科長、専攻科長、図書館長、リベラル アーツセンター長、入学・広報センター副センター長、就職支援部長を加えて 構成する。
 - 4 理事長及び学園長は必要に応じて出席することとする。
 - 5 運営会議は、大学運営に関する重要事項について審議し、学長が決定する。
 - 6 学長は以下に掲げる事項について、所轄する専門委員会の意見を聞いた 上、決定することとする。
 - (1) 学位の授与、学生の卒業及び課程の修了、教育課程の編成
 - (2) 学生の入学
 - (3)教員の資格審査
 - 7 運営会議に専門委員会を設置し、審議事項について諮問することができる。
 - 8 運営会議規程については別に定める。

第10章 全学教授会及び学部教授会

- 第45条 本学に全学教授会を設置する。
 - 2 全学教授会は学長及び副学長並びに全学の教授、准教授、講師、助教をもって構成する。
 - 3 学長又は学長が指名した者が議長となり、全学教授会を招集する。
 - 4 全学教授会は、大学運営会議の審議結果を報告する。
 - 5 全学教授会は、学長等の求めに応じて、教育研究に関する事項について、 審議及び構成員からの意見聴取を行う。
 - 6 全学教授会の規程は別に定める。
- 第46条 本学の各学部に学部教授会を設置する。
 - 2 学部教授会は、教授、准教授、講師、助教をもって構成員とする。学部長

は学部教授会を招集し、その議長となる。

- 3 学部教授会は当該学部の教育研究に関する事項を審議する。
- 4 学部教授会の規程は別に定める。

第11章 学年・学期及び休業日

- 第47条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第48条 学年を前期、後期の2学期に分ける。なお、期間については、別に定める本学の学年暦による。
- 第49条 休業日は次のとおりとする。

日曜日

国民の祝日に関する法律に規定する休日

学園創立記念日(9月15日)

春季休業 3月21日より3月31日まで

夏季休業 8月1日より9月20日まで

冬季休業 12月25日より翌年1月3日まで

- 2 学長は、必要がある場合は前項の休業日を変更、または休業日に授業等を 行わせることができる。
- 3 学長は、第1項に定めるもののほか、臨時の休業日を定めることができる。

第12章 附属施設

- 第50条 本学に図書館・真宗文化研究所・女性キャリア開発研究センター・地域連携推進センター・リベラルアーツセンター及び研究室を設け、教職員・学生の研究に資する。各規程は別に定める。
- 第51条 本学に寄宿寮を設ける。その規程は別に定める。
- 第52条 教職員・学生の保健医療のため、本学に保健室を設ける。

第13章 公開講座

第53条 学生ならびに一般市民の教養に資するため、公開講座を実施することができる。

第14章 賞罰

- 第54条 操行・学業ともに優秀で他の模範となる者に対しては、これを表彰することがある。
- 第55条 学生が本大学の学則及び諸規程に違反し、またその他学生の本分に反する 行為があるときは、大学運営会議の議を経て、学長がこれを懲戒する。
 - 2 懲戒は訓戒・停学・退学の3種とする。
 - 3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
 - (1)性行に問題があり、改善の見込みがないと認められる者
 - (2) 学力に問題があり、修学の見込みがないと認められる者
 - (3)正当な理由なく出席常でない者

- (4) 本学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者
- 4 懲戒処分については、懲戒委員会を置く。
- 5 学生の懲戒に関するガイドライン及び懲戒委員会規程等、懲戒に関する必要 な事項は、別に定める。

附則

本学則は、昭和39年4月1日より施行する。

- 2 本学則は、昭和40年4月1日より施行する。
- 3 本学則は、昭和41年4月1日より施行する。
- 4 本学則は、昭和42年4月1日より施行する。
- 5 本学則は、昭和43年4月1日より施行する。
- 6 本学則は、昭和44年4月1日より施行する。
- 7 本学則は、昭和44年10月1日より施行する。
- 8 本学則は、昭和45年4月1日より施行する。
- 9 本学則は、昭和46年4月1日より施行する。
- 10 本学則は、昭和47年4月1日より施行する。
- 11 本学則は、昭和48年4月1日より施行する。
- 12 本学則は、昭和49年4月1日より施行する。
- 13 本学則は、昭和50年4月1日より施行する。
- 14 本学則は、昭和51年4月1日より施行する。ただし、昭和50年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、なお従前の学則による。
- 15 本学則は、昭和52年4月1日より施行する。ただし、昭和51年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、第37条・第38条を除き従前の学則による。
- 16 本学則は、昭和53年4月1日より施行する。ただし、昭和52年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、従前の学則による。
- 17 本学則は、昭和54年4月1日より施行する。ただし、昭和53年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、従前の学則による。
- 18 本学則は、昭和55年4月1日より施行する。ただし、昭和54年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、従前の学則による。
- 19 本学則は、昭和56年4月1日より施行する。ただし、昭和55年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、従前の学則による。
- 20 本学則は、昭和57年4月1日より施行する。ただし、昭和56年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、従前の学則による。
- 21 本学則は、昭和58年4月1日より施行する。ただし、昭和57年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、従前の学則による。
- 22 本学則は、昭和59年4月1日より施行する。ただし、昭和58年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、従前の学則による。
- 23 本学則は、昭和60年4月1日より施行する。ただし、昭和59年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、従前の学則による。
- 24 本学則は、昭和61年4月1日より施行する。ただし、昭和60年度以前の入学生

については、本改正にかかわらず、従前の学則による。

- 25 本学則は、昭和62年4月1日より施行する。ただし、昭和61年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、第29条を除き従前の学則による。
- 26 本学則は、昭和63年4月1日より施行する。ただし、昭和62年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、第29条を除き従前の学則による。
- 27 本学則は、昭和63年10月1日より施行する。
- 28 本学則は、平成元年4月1日より施行する。
- 29 本学則は、平成2年4月1日より施行する。
- 30 本学則は、平成3年4月1日より施行する。ただし、第35条の規定にかかわらず、 平成5年度までの総定員は次のとおりとする。

区 分	平成3年度	平成4年度	平成5年度
日本文学科	360 名	400名	400名
英米文学科	360 名	440名	440名

- 31 本学則は、平成4年4月1日より施行する。ただし、第15条は平成3年度卒業生より適用する。
- 32 本学則は、平成5年4月1日より施行する。
- 33 本学則は、平成6年4月1日より施行する。ただし、平成5年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、第5条、第6条、第7条、第17条、第18条を除き従前の学則による。
 - 2 第4条に規定する収容定員は、平成8年度までは次のとおりとする。

区 分	平成6年度	平成7年度	平成8年度
日本文学科	450 名	420 名	390名
英米文学科	450 名	420 名	390 名
人間関係学科	60 名	120 名	180 名

- 34 本学則は、平成7年4月1日より施行する。
- 35 本学則は、平成8年4月1日より施行する。
- 36 本学則は、平成9年4月1日より施行する。
- 37 本学則は、平成10年4月1日より施行する。
- 38 本学則は、平成11年4月1日より施行する。
- 39 本学則は、平成12年4月1日より施行する。ただし、第3条以下の学科名は平成 12年度入学生より適用する。
- 2 第4条に規定する収容定員は、平成14年度までは次のとおりとする。

区 分	平成 12 年度	平成13年度	平成 14 年度
日本語日本文学科	370 名	380 名	390名
英語英米文学科	370 名	380 名	390名
人間関係学科	280 名	320 名	360名

- 40 本学則は、平成13年4月1日より施行する。ただし、平成13年3月31日に在籍する文学部人間関係学科の者は、平成13年4月1日より人間関係学部人間関係学科へ移籍するものとする。
 - 2 第4条に規定する収容定員は、平成15年度までは次のとおりとする。

区分	平成 13 年度	平成 14 年度	平成15年度
文学部			
日本語日本文学科	370 名	370 名	370名
英語英米文学科	370 名	370 名	370名
人間関係学部			
人間関係学科	340 名	400 名	460 名

- 41 本学則は、平成14年4月1日より施行する。
- 2 第4条に規定する収容定員は、平成16年度までは次のとおりとする。

区分	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度
文学部			
日本語日本文学科	350 名	330 名	300名
英語英米文学科	350 名	330 名	300名
人間関係学部			
人間関係学科	420 名	500 名	540 名
人間健康学科	80 名	160名	240 名

- 42 本学則は、平成15年4月1日より施行する。
- 2 第4条に規定する収容定員は、平成17年度までは次のとおりとする。

区分	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
文学部			
日本語日本文学科	330 名	300 名	280 名
英語英米文学科	330 名	300 名	280 名
人間関係学部			
人間関係学科	500 名	540 名	560名
人間健康学科	160名	240 名	320 名
社会福祉学科	80 名	160名	250 名

- 43 本学則は、平成16年4月1日より施行する。
 - 2 第4条に規定する収容定員は、平成18年度までは次のとおりとする。

区分	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
文学部			
日本語日本文学科	300 名	280 名	280 名
英語英米文学科	300 名	280 名	280 名
人間関係学部			
人間関係学科	540 名	560 名	560 名

人間健康学科	240 名	320 名	320 名
社会福祉学科	160名	250 名	340 名

- 44 本学則は、平成17年4月1日より施行する。
- 45 本学則は、平成18年4月1日より施行する。
- 46 本学則は、平成19年4月1日より施行する。
- 47 本学則は、平成 20 年 4 月 1 日より施行する。ただし、第 3 条以下の学科名は、平成 20 年度入学生より適用する。
- 48 本学則は、平成21年4月1日より施行する。
- 49 本学則は、平成22年4月1日より施行する。ただし、第3条以下の学部、学科名 は平成22年度入学生より適用する。
 - 2 文学部、日本語日本文学科、国際英語学科、人間科学部、人間関係学科、健康栄養学科、社会福祉学科は本改正にかかわらず、平成22年3月31日に在学する者が当該学部・学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 50 本学則は、平成23年4月1日より施行する。ただし、平成22年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、従前の学則による。
- 51 本学則は、平成 25 年 4 月 1 日より施行する。ただし、第 4 条以下の専攻名は平成 25 年度入学生より適用する。
- 2 第4条に規定する収容定員は、平成27年度までは次のとおりとする。

区分	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人文学部			
文学科	438 名	318名	198名
心理学科	480 名	480 名	480 名
キャリア形成学部			
キャリア形成学科	480 名	480 名	480 名
健康科学部			
健康栄養学科			
管理栄養士専攻	320 名	320 名	320 名
健康スポーツ栄養専攻	40 名	80 名	124 名
看護学科	250 名	340 名	340 名

- 52 本学則は、平成26年4月1日より施行する。ただし、平成25年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、従前の学則による。
- 2 人文学部、文学科、心理学科は本改正にかかわらず、平成26年3月31日に在学する者が当該学部・学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 第4条に規定する収容定員は、平成28年度までは次のとおりとする。

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
キャリア形成学部			
キャリア形成学科	440 名	400名	360 名
健康科学部			
健康栄養学科			
管理栄養士専攻	320 名	320 名	320 名
健康スポーツ栄養専攻	80 名	124 名	168名

看護学科	340 名	340 名	340 名
心理学科	80 名	160 名	240 名
医療福祉学科			
社会福祉専攻	40 名	80 名	120 名
言語聴覚専攻	40 名	80 名	120 名

- 53 本学則は、平成27年4月1日より施行する。
- 2 第4条に規定する収容定員は、平成29年度までは次のとおりとする。

区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
キャリア形成学部			
キャリア形成学科	400 名	360 名	320 名
健康科学部			
健康栄養学科			
管理栄養士専攻	320 名	320 名	320 名
健康スポーツ栄養専攻	124 名	168 名	168 名
看護学科	340 名	340 名	340 名
心理学科	160 名	240 名	320 名
医療福祉学科			
社会福祉専攻	80 名	120 名	160名
言語聴覚専攻	80 名	120 名	160名
こども教育学部			
こども教育学科	80 名	160名	240 名

- 54 本学則は、平成28年4月1日より施行する。ただし、平成27年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、従前の学則による。
- 55 本学則は、平成29年4月1日より施行する。ただし、平成28年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、従前の学則による。
- 2 第4条に規定する収容定員は、平成31年度までは次のとおりとする。

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
キャリア形成学部			
キャリア形成学科	320 名	320 名	320 名
健康科学部			
健康栄養学科			
管理栄養士専攻	320 名	320 名	320 名
健康スポーツ栄養専攻	168 名	168 名	168 名
看護学科	335 名	330 名	335 名
心理学科	320 名	320 名	320 名
医療福祉学科			
社会福祉専攻	160 名	160 名	160 名
言語聴覚専攻	160 名	160 名	160名
こども教育学部			
こども教育学科	320 名	320 名	320 名

- 56 本学則は、平成30年4月1日より施行する。ただし、平成29年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、従前の学則による。
 - 2 第4条に規定する収容定員は、平成32年度までは次のとおりとする。

区 分	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
キャリア形成学部			
キャリア形成学科	320 名	320 名	320 名
健康科学部			
健康栄養学科			
管理栄養士専攻	320 名	320 名	320 名
健康スポーツ栄養専攻	168 名	168 名	168 名
看護学科	330 名	335 名	340 名
心理学科	290 名	260 名	230 名
医療福祉学科			
社会福祉専攻	160 名	160 名	160 名
言語聴覚専攻	160 名	160 名	160 名
こども教育学部			
こども教育学科	320 名	320 名	320 名

- 57 本学則は、2019年4月1日より施行する。ただし、2018(平成30)年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、従前の学則による。
 - 2 第4条に規定する収容定員は、2021年度までは次のとおりとする。

区 分	2019 年度	2020 年度	2021 年度
キャリア形成学部			
キャリア形成学科	320 名	320 名	320 名
健康科学部			
健康栄養学科			
管理栄養士専攻	320 名	320 名	320 名
健康スポーツ栄養専攻	168 名	168 名	168 名
看護学科	335 名	340 名	340 名
心理学科	260 名	230 名	200名
医療福祉学科			
社会福祉専攻	160 名	160 名	160名
言語聴覚専攻	160 名	160 名	160名
こども教育学部			
こども教育学科	320 名	320 名	320 名

- 58 本学則は、2020年4月1日より施行する。ただし、2019年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、従前の学則による。
- 2 第4条に規定する収容定員は、2022年度までは次のとおりとする。

区 分	2020 年度	2021 年度	2022 年度
キャリア形成学部 キャリア形成学科 健康科学部	320 名	320 名	320 名

健康栄養学科			
管理栄養士専攻	320 名	320 名	320 名
健康スポーツ栄養専攻	168 名	168 名	168 名
看護学科	340 名	340 名	340 名
心理学科	230 名	200 名	200 名
医療福祉学科			
社会福祉専攻	160 名	160名	160 名
言語聴覚専攻	160 名	160名	160 名
こども教育学部			
こども教育学科	320 名	320 名	320 名

- 59 本学則は、2021年4月1日より施行する。ただし、2020年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、従前の学則による。
- 2 第4条に規定する収容定員は、2023年度までは次のとおりとする。

区 分	2021 年度	2022 年度	2023 年度
キャリア形成学部			
キャリア形成学科	330 名	340 名	350 名
健康科学部			
健康栄養学科			
管理栄養士専攻	320 名	320 名	320 名
健康スポーツ栄養専攻	168 名	168 名	168 名
看護学科	340 名	340 名	340 名
心理学科	210 名	220 名	230 名
医療福祉学科			
社会福祉専攻	150 名	140 名	130名
言語聴覚専攻	150 名	140 名	130名
こども教育学部			
こども教育学科	320 名	320 名	320 名

- 60 本学則は、2022年4月1日より施行する。ただし、2021年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、従前の学則による。
- 2 第4条に規定する収容定員は、2024年度までは次のとおりとする。

区 分	2022 年度	2023 年度	2024 年度
キャリア形成学部			
キャリア形成学科	340 名	350 名	360 名
健康科学部			
健康栄養学科			
管理栄養士専攻	320 名	320 名	320 名
健康スポーツ栄養専攻	168 名	168 名	168 名
	【2名】	【4名】	【6名】
看護学科	340 名	340 名	340 名
心理学科	220 名	230 名	240 名
医療福祉学科			
社会福祉専攻	140 名	130名	120 名
言語聴覚専攻	140 名	130名	120名

こども教育学部			
こども教育学科	320 名	320 名	320 名
	【10 名】	【20 名】	【30名】
人間健康学群	12 名	24 名	36名

【 】は人間健康学群に係る内数を表す。

61 本学則は、2023年4月1日より施行する。ただし、2022年度以前の入学生については、本改正にかかわらず、従前の学則による。

区 分	2023 年度	2024 年度	2025 年度
キャリア形成学部			
キャリア形成学科	350 名	360 名	360 名
健康科学部			
健康栄養学科			
管理栄養士専攻	320 名	320 名	320 名
健康スポーツ栄養専攻	168 名	168 名	168 名
	【4名】	【6名】	【8名】
看護学科	340 名	340 名	340 名
心理学科	230 名	240 名	240 名
医療福祉学科			
社会福祉専攻	130 名	120 名	120名
言語聴覚専攻	130 名	120 名	120 名
こども教育学部			
こども教育学科	320 名	320 名	320 名
	【20名】	【30名】	【40名】
人間健康学群	24 名	36 名	48 名

^{【 】}は人間健康学群に係る内数を表す。

キャリア形成学部 キャリア形成学科

〈2023年度入学生対象〉

	- 1 0	支人字生	Al sav				単位	立数					関	連資	i格
	区	分	学科目	授業形態	1単位当 たりの授 業時間数	1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	上級情報処理士	上級ビジネス実務士	
			仏教の人間観 I	講義	15	2				2					
		共	仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2					
		通	京都光華の学び	演習	30	1				1			0		
		コア	アカデミックスキル入門	演習	30	1				1			0	0	
		科	アカデミックライティング	演習	30	1				1	必修				
		目	データサイエンス入門	演習	30	1				1			0		
			伝統文化	演習	30			1		1					
			総合英語I	演習	30	1				1					
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1					
			English in Use A	演習	30		1			1					
		_	English in Use B	演習	30		1			1					
		コミ	English in Use C	演習	30	, ,	1			1					
		ユ	English in Use D	演習	30		1			1					
		ニ外 ケ国	English in Use E	演習	30		1			1					
)語	English in Use F	演習	30		1			1	188.40				
	5	シ	医療英語	演習	30		1			1	選択				
		ョ ン	中国語I	演習	30		1			1					
	•		中国語Ⅱ	演習	30		1			1					
			ハングル I	演習	30		1			1					
			ハングルⅡ	演習	30		1			1					
			海外での語学研修	実習	30		4	2	•	2					
			健康の科学	講義	15	4	2			2					
			食生活と健康	講義	15	4	2			2					
		ス	生涯スポーツ入門	講義	15	4	2			2					
	7	スポーツ	スポーツ実技 I	実習	30	1				1	選択				
	,) & .,, E	スポーツ実技Ⅱ	実習	30		1			1	2577				
		9	アダプテッドスポーツ	実習	30		1			1					
			マインドフルネス	実習	30		1			1					
			教養囲碁入門	実習	30		1			1					
			哲学と倫理	講義	15	44	2			2					
			くらしのなかの宗教	講義	15	4	2			2					
			仏教文化	講義	15	4	2			2					
			文化人類学	講義	15	4	2			2					
リベ			言語と文学	講義	15	4	2			2					
ラ		T	日本文化の理解	講義	15	4	2			2	783.4FT 1/1 M/r				
ル		I 群	京都の歴史と文化	講義	15	4	2			2	選択必修 2単位				
アー			芸術文化論	講義	15		2			2	=				
ツ			サブカルチャー論	講義	15		2		<u> </u>	2					
教			現代アジア事情	講義	15		2			2					
	人文		現代欧米事情	講義	15		2		<u> </u>	2					
目	·		国際社会の理解	講義	15		2			2					
	社		国際社会とジェンダー	講義	15		2			2					
	会・		心理学	講義	15		2			2					
	自		社会学	講義	15		2			2			<u> </u>		<u> </u>
	然		日本国憲法	講義	15		2			2					<u> </u>
			現代社会と法	講義	15		2			2					
			現代社会と政治	講義	15		2			2					<u> </u>
		П	くらしのなかの経済学	講義	15		2	<u> </u>		2	選択必修		_		<u> </u>
		群	くらしのなかの統計学	講義	15		2			2	2単位				<u> </u>
			情報社会の理解	講義	15		2	<u> </u>		2			0	0	<u> </u>
			生命の科学	講義	15		2	<u> </u>		2			_		<u> </u>
			生活と物理・化学	講義	15		2	<u> </u>		2			_		<u> </u>
			地域と環境	講義	15		2	<u> </u>		2			_		Щ
			生活と防災	講義	15		2			2					<u> </u>
			ボランティア論	講義	15	4	2	<u> </u>	<u> </u>	2					

						 1	立数					上	上 級	
区	分	学科目	授業形態	1単位当 たりの授 業時間数	1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	級情報処理士	椒ビジネス実務士	
		情報リテラシー	演習	30	1				1			0	上	
	キャ	情報技術の理解	講義	15		2			2			0		
	IJ	数的処理の基礎	演習	30		1			1					_
	アデ	読解と思考の技法	演習	30		1	0		1	選択			-	_
		webプサイン 産官学連携プロジェクト	演習	15	<u> </u>	2	2		2			0		_
	イン	生日子連携プロジェクト キャリア実習	演習	15 30		1			1	1				_
		インターンシップ	実習	30		1		2	2				<u> </u>	_
	デ	データサイエンスのための数学	講義	15		2	<u> </u>		2			0		-
	ンー	プログラミング入門	演習	15		2			2			0		-
	ヘタ・サ	AIへのアプローチ	講義	15			2		2	選択		0		_
	A T	データサイエンスへのアプローチ	講義	15			2		2			0		
	* エ	データサイエンスPBL	演習	15			2		2			0		_
		日本語FI	演習	30	1				1					
	TGE	日本語FⅡ	演習	30	1				1	ы				_
	当学	日本語SI	演習	30		1			1	外国人 留学生				_
特的解析官 マンニュー マンニュー マンニュー マンニュー マンニュー マンニュー アコースント では、アンス・AI マンス・AI マンス・AI マンス・AI マンス・AI マンス・AI マンス・AI マンス・AI アンス・AI マンス・AI マンス・AI アンス・AI 経営 アンス・AI アンス・AI アンス・AI 経営 経営 経営 経営 経営関連 ・インターン 経営 経営関連 シップ 経営 経営関連 シップ 経営 経営関連 アンス・AI アンス・AI アンス・AI アンス・AI アンス・AI 経営 経営関連 経営関連 経営関連 経営関連 経営関連 シップ アンス・AI 経営 経営関連 経営関連 経営関連 経営関連 ・インターン 2・アンス・AI 展営 経営関連 経営関連 経営関連 経営関連 経営 経営関連 2・アンス・AI アンス・AI アンス・AI アンス・AI アンス・AI アンス・AI アンス・AI アンス・AI	日本語SII	演習	30	-	1			1	必修			_	_	
		日本事情Ⅰ	演習	30	1				1			-	1	_
	T	日本事情 II 女性の生き方・働き方	演習講義	30 15	2				1 2	必修		0		_
	ン	女性と経済	講義	15	2	2			2	北修			-	_
		女性と現代社会	講義	15		_	2		2	1		0		-
		女性とメディカル	講義	15			2		2	選択		Ť		-
	キャリアデザイン ンス・AI 留学生 エンパワーメント ゼミ ク 経営 ・インターン を営 経営 経営 を選 ・インターン 経営 経営 を選 ・インターン 経営 経営 経営 ・インターン 経営 経営 ・インターン 経営 経営 経営 ・インターン 経営 経営 経営 ・インターン 経営 経営 経営 ・インターン 経営 経営 ・インターン 経営 経営 経営 ・インターン ・インターン ・インターン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	女性のキャリア形成	演習	30			1		1					_
		女性のアントレプレナーシップ	講義	15				2	2				0	
		基礎ゼミI	演習	30	1				1					
		基礎ゼミⅡ	演習	30	1				1					
		発展ゼミI	演習	30		1			1					
		発展ゼミⅡ	演習	30		1			1	必修				
	`	応用ゼミI	演習	15			2		2					_
			演習	15			2	2	2					_
			演習	15 15				2	2	1				_
	27		演習	30	1			2	1					-
	クッロ	ロジカルシンキング	演習	30		1			1	選択				-
		現代社会と経営	講義	15	2		L		2					-
キャリアデザイン データサイエ 留学生 エンパワーメント ゼミ ク 専門基盤 ・プレラーン 経営 経営		経営入門	講義	15	2				2					
		ビジネス・マネジメント原論	講義	15		2			2	選択			0	
		サービス・マネジメント原論	講義	15		2			2					
		ソーシャル・マネジメント原論	講義	15		2			2					_
	・プ	地域参加	演習	30	1				1	-		0	_	_
			演習	30 30	2	<u> </u>	2		2	必修		0	-	
	プーク	プロジェクト評価	演習	30			1		1	1		0	-	_
	ント	専門実習(長期団ンターンシップ)	実習	45			-	2	2	選択			<u>+</u> -	-
			講義	15		2			2	A211		+	+	-
			講義	15		2			2	1		1	0	-
			講義	15			2		2]			0	-
		マーケティング	講義	15			2		2]			0	_
		経営戦略	講義	15			2		2]			0	
	経	組織とヒューマンリソース	講義	15			2		2					_
		経営情報	講義	15			2		2	選択			<u> </u>	_
		消費者心理学	講義	15			2		2	1		-	1	_
			講義	15 15			2	2	2			-		_
		金融ビジネス 流通ビジネス	講義講義	15				2	2	1		+	0	-
		ロジスティクス	講義	15				2	2	†		+		-
		スモールビジネス演習	演習	15				2	2	1		+	0	_
		ビジネスマナー	演習	30		1			1				0	_
		簿記・会計実務 (決算と財務諸表)	講義	15		2			2	1		1	Ť	_
		簿記・会計実務 (財務諸表の分析)	講義	15		2			2	選択				_
		ファイナンシャル・プランニング(将来設計)	講義	15		2			2]				
報報的解か官 ヤンーロへーー本本本本性性性性性健健 (機) エンパワーメント ゼミ ク 専門基盤 中の解析が官 ヤンーロへーー本本本本体性性性性性健健 (基) エンパワーメント ゼミ グロジェクト ・キャリアデザイン シップ 経営基礎 ブロジェクト ・カーロへーー本本本本本体性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性	ファイナンシャル・プランニング(資産運用)	講義	15		2			2	1				-	

							単化	立数					関	連資	格
	区	分	学科目	授業形態	1単位当 たりの授 業時間数	1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士
		.11	ビジネスデータ分析基礎	演習	15			2		2			0	0	0
		サ イデ	ビジネスデータ分析応用	演習	15		•		2	2				0	
		エー	テキストマイニング	演習	15			2		2	選択				
		ンタ ス	データサイエンス実践	演習	15			2		2			0		0
			データサイエンス発展	演習	15				2	2					0
		ク	広報企画デザイン	演習	30		1			1					
		IJ	色彩とデザイン	講義	15	:	2			2					
		エー	グラフィックデザイン	演習	30			1		1	選択		0		
		シ	ビジュアルデザイン	演習	30			1		1	,_,,		0		
		ョン	ユニバーサルデザイン	講義	15			2		2					
専	ļ		デジタルメディア	演習	15				2	2					
門		ファ	アパレルプランニング	演習	30		1	<u> </u>	ı	1					
科目		ッ	ファッションビジネス	講義	15			2		2	Name (em				
		シ	ファッション企画演習	演習	15			2	<u> </u>	2	選択		<u> </u>	\vdash	
		ョン	ショップデザイン	講義	15				2	2	-			\vdash	
	ŀ	ブ	ブランドデザイン	講義	15			2	_	2					
		ラ	ブライダルビジネス ブライダル実務	講義講義	15 15			2	<u> </u>	2	1		<u> </u>	\vdash	
		イ		_	15			2		2	選択			H	-
		ダ ル	ブライダル企画演習 ブライダルコーディネート	演習講義	15			2		2	1			H	
	ŀ		インテリアプランニング	演習	30		1	Ī	<u> </u>	1					
		1	インテリアビジネス	講義	15			2		2					
		・ _住 シ	インテリア企画演習	演習	15			2		2					
		・住空間	インテリア計画	講義	15			2		2	選択				
		間ア	住空間コーディネート	講義	15			2		2					
			宅地と建物	講義	15				2	2					
	İ		サービスプランニング	演習	30		1			1					
			観光ビジネス	講義	15			2		2	1				
		6en	観光資源	講義	15			2		2					
		観光	観光地理	講義	15			2		2					
		٠	国内旅行の取扱管理(法務・約款)	講義	15			2		2	選択				
		食文	国内旅行の取扱管理 (旅行実務)	講義	15			2		2	251/				
		化	食文化・フードビジネス	講義	15			2		2					
			食文化演習	演習	30			1		1					
			食空間コーディネート	講義	15				2	2					
	ŀ		食マーケティング論	講義	15		_	Г	2	2					
		美	化粧と心理	演習	30		1	0	1	1					
	専	と健	化粧の科学	講義	15			2	-	2	選択				
	門	康	医薬品管理	講義講義	15 15			2	-	2					
	応用		販売登録者実務 フィールドスタディ	演習	30		-	1		1					
	Л		ソーシャルビジネス	講義	15			2		2					
		現	企業の社会的責任	講義	15			2		2					
		代社	現代社会とリスク管理	講義	15			2		2	選択				
		社会	社会と環境	講義	15			2		2					
			多文化共生社会	講義	15			2		2					
1 1			社会とジェンダー	講義	15			2		2					
	Ī		地方自治	講義	15			2		2					
		公	地域公共政策	講義	15				2	2					
		共政	まちづくりデザイン	講義	15				2	2	選択				
		策	現代社会と福祉	講義	15				2	2					
	ļ		コミュニティ心理学	講義	15				2	2					
		社	社会調査入門	講義	15	- 1	2			2				igspace	0
		会調	社会調査法	講義	15		2			2	選択			<u> </u>	0
		查	社会調査実習 I	演習	30			1		1	-			\vdash	0
1 1	ŀ		社会調査実習Ⅱ TOFICI	演習	30			1		1				\vdash	0
			TOEIC I	演習	30 30			1		1	1				
			実践英語 I	演習	30			1		1	-			H	
			実践英語II	演習	30			1		 	1			H	
			実践ビジネス英語	演習	30		1		1	1	1				
		外	実践ビジネス英会話	演習	30				1	1				H	
		国語	セメスター留学	実習	45			6		6	選択				
		PD	長期(1年)留学	実習	45			12		12	1				
. 1	ı					<u> </u>	<u> </u>			-		L			

							単化	立数					関	連資	f格
	区分	分	学科目	授業形態	1単位当 たりの授 業時間数	1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士
			実践中国語 I	演習	30			1		1					
			実践中国語Ⅱ	演習	30			1		1					
			実践ハングル I	演習	30			1		1					
			実践ハングルⅡ	演習	30			1		1					
			メディカルクラーク I	講義	15			2		2					
		医	メディカルクラーク Ⅱ	講義	15			2		2					
		療事	メディカルクラーク応用	講義	15			1		1					
		務	ドクターズクラーク I	講義	15			2		2					
自由		な	ドクターズクラーク Ⅱ	講義	15			2		2					
由科		ど	ケアクラーク	講義	15			2		2	自由				
目			調剤報酬請求事務	講義	15			2		2					
	Ī		公務員特別演習基礎	演習	30		1			1					
		公務員	公務員特別演習応用	演習	30			1		1					
		員	公務員特別演習発展	演習	30			1		1					
			公務員特別演習(総合)	演習	30				1	1					

リベラルアーツ教育科目は<u>36単位</u>以上修得すること(必修11単位、選択必修4単位、選択21単位)。 専門科目は<u>92単位</u>以上修得すること (必修20単位、選択72単位)。 リベラルアーツ教育科目と専門科目合わせて<u>計128単位以上修得</u>すること。

<履修登録単位の上限>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、 <u>48単位以内</u>とする。

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。

資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

健康科学部 健康栄養学科・管理栄養士専攻

〈2023年度入学生対象〉

	- 1 \(\infty \)	• ,	対象				単位	立数							資	格		
													栄養	管理	フー	食品	健康	栄養
													±	栄養	ドス。	衛生	運 動	教諭
	区分		学科目	授業 形態	1単位当たり 授業時間数					単位計	必・選・自	備考		±	ペシャ	監視員	実 践 指	種
				カクルは	授業時間数	1年	2年	3年	4年						リス	· 管	· 導 者	
															ŀ	理 者		
			仏教の人間観 I	講義	15	2				2								
	井		仏教の人間観Ⅱ 京都光華の学び	講義演習	15 30	2				2								-
	ラフ	1	アカデミックスキル入門	演習	30	1				1								
	禾	斗	アカデミックライティング	演習	30	1				1	必修							
	E	1	データサイエンス入門 伝統文化	演習 演習	30 30	1		1		1								0
			総合英語 I	演習	30	1				1								0
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1								0
			English in Use A English in Use B	演習 演習	30 30		1 1			1								
	コバ		English in Use C	演習	30		1			1								
	ュニ		English in Use D	演習	30		1			1								
	ケ	玉	English in Use E English in Use F	演習演習	30 30		1 1			1								_
	シ	нц	医療英語	演習	30		1			1								
	ョン		中国語I	演習	30		1			1								
			中国語 I ハングル I	演習	30 30		1 1			1								-
			ハングルⅡ	演習	30		1			1	選択							
			海外での語学研修	実習	30		_	2		2								
			健康の科学 食生活と健康	講義講義	15 15		2			2								\vdash
	ス	fords	生涯スポーツ入門	講義	15		2			2								
	ポー	健康	スポーツ実技 I	実習	30	1				1								0
	ッ	と	スポーツ実技 II アダプテッドスポーツ	実習 実習	30 30		1			1								0
			マインドフルネス	実習	30		1			1								
			教養囲碁入門	実習	30		1			1								
У			哲学と倫理 くらしのなかの宗教	講義講義	15 15		2			2								
ベラ			仏教文化	講義	15		2			2								
ルア			文化人類学 言語と文学	講義	15 15		2			2								
ーツ			日本文化の理解	講義講義	15		2			2								\vdash
教		I 群	京都の歴史と文化	講義	15		2			2	選択必修 2単位							
育科			芸術文化論 サブカルチャー論	講義講義	15 15		2			2								
目			現代アジア事情	講義	15		2			2								
	人文		現代欧米事情	講義	15		2			2								
	•		国際社会の理解 国際社会とジェンダー	講義講義	15 15		2			2								
	社会		心理学	講義	15		2			2								
	自		社会学	講義	15		2			2								
	然		日本国憲法 現代社会と法	講義講義	15 15		2			2								0
			現代社会と政治	講義	15		2			2								
		П	くらしのなかの経済学	講義	15		2			2	選択必修							igsqcup
		群	くらしのなかの統計学 情報社会の理解	講義講義	15 15		2			2	2単位							
			生命の科学	講義	15		2			2								
			生活と物理・化学	講義	15		2			2								<u> </u>
			地域と環境 生活と防災	講義講義	15 15		2			2								\vdash
			ボランティア論	講義	15		2			2								
	4	- <u></u>	情報リテラシー	演習	30	1			-	1								0
	4	P	情報技術の理解 数的処理の基礎	講義演習	15 30		2 1			2								\vdash
	リラ	,	読解と思考の技法	演習	30		1			1	選択							
	ラサ	ー デ	Webデザイン 産官学連携プロジェクト	演習	15 15		2	2		2	~2 1/ \							<u> </u>
	1	^	産目子連携プロンエクト キャリア実習	演習 演習	30		2 1			2								
			インターンシップ	実習	30			2	2	2								
	ンス・	デー	データサイエンスのための数学 プログラミング入門	講義演習	15 15		2			2								<u> </u>
	ス ・	タサ	AIへのアプローチ	講義	15	,		2		2	選択							
	Λ	ッ イ エ	データサイエンスへのアプローチ	講義	15			2		2								
<u> </u>	<u> </u>		データサイエンスPBL	演習	15		2	2		2			<u> </u>					<u> </u>

と健康 疾病の成り立ち 食べ物と健康 栄養学 栄養学 栄養教育	基歴 社会・環境 人	学科目 基礎ゼミ 生命科学の基礎 専門職の連携(基礎) 公衆衛生学 I	授業形態 演習 講義	1単位当たり 授業時間数	1年	9年			\)/ \J= ±	late de	栄 養 士	管理栄養士	フー ドスペン	食品衛生監	健康運動室	栄養教
と健康 疾病の成り立ち 食べ物と健康 栄養学 栄養教育	基歴 社会・環境 人	生命科学の基礎 専門職の連携(基礎)		1		24	3年	4年	単位計	必・選・自	備考			シャリスト	視員・管理者	実践指導者	教諭一種
と健康 疾病の成り立ち 食べ物と健康 栄養学 栄養教育	社会・環境	専門職の連携(基礎)	排 美	30	1			Ш	1	必修							\vdash
と健康 疾病の成り立ち 食べ物と健康 栄養学 栄養学 栄養教育	会・環境 人			15	2				2	必修							匚
と健康 疾病の成り立ち 食べ物と健康 栄養学 栄養学 栄養教育	会・環境 人	公來衛生子【	講義	15	2	0			2	必修				igwdown		igwdows	⊢
東	環 境 人	公衆衛生学Ⅱ	講義講義	15 15		2	2	\longrightarrow	2		•	0	0	$\vdash \vdash \vdash$	0	$\vdash \vdash \vdash$	⊢
実病の成り立ち 食べ物と健康 栄養学 栄養教育	境 人	健康管理論	講義	15	2			-	2	選択	1		0		0	0	\vdash
実病の成り立ち 食べ物と健康 栄養学 栄養学 栄養教育	人体の構	健康評価実習	実習	45		1			1	必修		0	\circ			0	
実病の成り立ち 食べ物と健康 栄養学 栄養学 栄養教育	人体の構	人体の構造と生理 I	講義	15	2				2	必修		0	0		0	0	$ldsymbol{oxed}$
専門科目を対象を健康と健康と健康と健康と健康とは、実験が対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	体の構	人体の構造と生理Ⅱ	講義	15	_	2	—		2	必修		0	0	igwdown	0	0	⊢
専門科目を対象を健康と健康と健康と健康と健康とは、実験が対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	播	人体の構造と生理Ⅲ 生化学 I	講義講義	15 15	2	2	Щ	\dashv	2	選択 必修	-	0	0	$\vdash\vdash\vdash$	0	$\vdash \vdash$	⊢
専門科目を対象を健康と健康と健康と健康と健康とは、実験が対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	浩	生化学Ⅱ	講義	15		2	$\overline{}$	\dashv	2		•	0	0		0		\vdash
専門科目を対象を健康と健康と健康と健康と健康とは、実験が対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	ک	運動生理学	講義	15		2			2	選択			0			\circ	
専門科目を対象を健康と健康と健康と健康と健康とは、実験が対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	機 能	臨床検査・病理	講義	15			2		2	選択]		0		0		\sqsubseteq
専門科目(栄養学)栄養学)栄養教育		人体の構造・生理実験	実験	45	<u> </u>	1			1	必修		0	0		0		ullet
専門科目 栄養学 栄養学 栄養教育	び	生化学実験 I	実験	45	1	1		\longrightarrow	1	必修	-	0	0		0		₩
専門科目 栄養学 栄養学 栄養教育		生化学実験Ⅱ 食品学Ⅰ	実験 講義	45 15	2	1		\dashv	2	選択 必修		0	0	0	0		\vdash
専門科目 栄養学 栄養学 栄養教育		食品学Ⅱ	講義	15		2	П	$\overline{}$	2	<u></u>	1	0	0	0	0		一
専門科目 栄養学 栄養学 栄養教育		食品加工学	講義	15		2			2	選択]		0		0		
物と健康 栄養学 栄養学 栄養教育		食品衛生学	講義	15		2			2	必修]	0	0	0	0		\Box
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		調理学	講義	15	2				2	必修		0	0	0	0	<u> </u>	╙
専門科目 栄養学 栄養教育	_	食品学実験 I	実験	45		1	₩		1	必修		0	0	0	0	igwdapprox igwedge	⊢
専門科目 栄養学 栄養教育		食品学実験 Ⅱ 食品衛生学実験	実験実験	45 45		1	1	\longrightarrow	1	選択 選択	•		0	0	0	$\vdash \vdash$	\vdash
門科目	,	調理実習基礎	実習	45	1			┙	1		1	0	0	0			一
門科目		調理実習応用	実習	45	1				1	必修	1	0	0	0			T
門		食生活と調理実習	実習	45		1			1	選択			0				
門	基	基礎栄養学I	講義	15	2		Ь—		2	必修		0	0	0	0	0	╙
門	礎	基礎栄養学Ⅱ	講義	15		2	₩		2			0	0	igwdapprox	0	igwdapprox igwedge	⊢
栄養学 栄養教育		栄養学実験 応用栄養学 I	実験 講義	45 15		2	\vdash	\longrightarrow	2	 业修		0	0	$\vdash \vdash \vdash$	0	$\vdash \vdash \vdash$	\vdash
——— 栄養 教育	応	応用栄養学Ⅱ	講義	15		2	 		2	選択	1		0				\vdash
——— 栄養 教育	用	応用栄養学Ⅲ	講義	15			2		2	選択			\circ				
		応用栄養学実習	実習	45			1		1	必修		0	0				
	关	栄養教育論 I	講義	15		2	—	\longrightarrow	2	必修		0	0	igsqcut		<u> </u>	₩
) (h	栄養教育論Ⅱ 栄養教育論Ⅲ	講義講義	15 15	_	2	-	\longrightarrow	2	必修 選択		0	0	igwdown		igwdown	₩
⇒∧		栄養教育論Ⅲ 栄養教育論実習 I	実習	45			2	\vdash	2			0	0	$\vdash \vdash \vdash$		┢─┤	\vdash
前	侖	栄養教育論実習Ⅱ	実習	45			1	\Box	1	選択			0				\vdash
		臨床栄養学 I	講義	15		2			2	必修		0	0				
臨	品 亡	臨床栄養学Ⅱ	講義	15			2	Ш	2	選択			0				$ldsymbol{f eta}$
床業養	Ř	臨床栄養学Ⅲ	講義	15			2	\vdash	2	選択			0	igwdown		igwdown	⊢
養	É 送	臨床栄養管理 臨床栄養学実習 I	講義実習	15 45			2	\vdash	2	選択 必修	•	0	0	$\vdash \vdash \vdash$		$\vdash \vdash \vdash$	\vdash
,	,	臨床栄養学実習Ⅱ	実習	45			1	\Box	1	選択			0				\vdash
		公衆栄養学 I	講義	15			2		2	必修		0	0				
栄養学	公	公衆栄養学Ⅱ	講義	15			2		2	選択			0				
学	來	栄養疫学 公衆党養党実習	講義	15	<u> </u>	2	<u> </u>	\longrightarrow	2	選択	-				0		—
<u> </u>		公衆栄養学実習 給食マネジメント論 I	実習講義	45 15	\vdash	2	1	\dashv	2			0	0	$\vdash \vdash$	0		\vdash
管理論	給 食	和良マイン/ント論Ⅱ 給食マネジメント論Ⅱ	講義	15		2	\vdash	\dashv	2	選択	1		0	\square			\vdash
理論	経	給食マネジメント実習 I	実習	45		1			1	必修]	0	0		0		
Anu)		給食マネジメント実習Ⅱ	実習	45			1	Ш	1	必修		0	0		0		igsqcut
演組	22.25	総合演習Ⅰ	演習	15	<u> </u>		2		2	選択			0				
習		総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ	演習 演習	15 15	\vdash			2	2	選択	1		0	$\vdash\vdash\vdash$	$\vdash\vdash$		\vdash
II'A	占	臨地実習 I	実習	45			1	4	1			0	0	$\vdash \vdash$			+
臨地	m 也	臨地実習Ⅱ	実習	45			1		1	選択	臨地実習の履修年次、期間は実 習先により異なる。実習先の定		0				
実習	国	臨地実習Ⅲ	実習	45			1	Ш	1	選択	員等の関係により希望する実習 先を選択できないことがある。		0				\Box
====================================		臨地実習IV	実習	45	<u> </u>	_		1	1	選択			0				
		健康プロジェクト I 健康プロジェクト II	講義	15 30	\vdash	2	1	\longrightarrow	2	選択 選択	-			$\vdash\vdash$	$\vdash\vdash\vdash$		\vdash
専		健康プロジェクトII 病棟栄養管理特論	演習 講義	30 15	\vdash	<u> </u>	1 2	2	2	選択	1			$\vdash \vdash$			\vdash
門	į l	臨床栄養学実践演習 I	演習	30			 	1	1	選択 選択	1			$\vdash \vdash$			\vdash
発	月	臨床栄養学実践演習Ⅱ	演習	30				1	1	選択]						
展科	· 号	食品開発論	講義	15			2	\Box	2	選択]						
目	月 巻 美 平	食品プロセス演習	演習	30]	1	1	選択	Ī		1]	\bigsqcup	igsqcut	<u> </u>	1
	月巻姜斗目	食品開発演習	演習	30				1	1	選択	4	\vdash	$\vdash \vdash$	۰ ٦	•		1

						単位	立数							資	格		
	区分	学科目	授業形態	1単位当たり 授業時間数	1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視員・管理者	健康運動実践指導者	栄養教諭一種
		専門職の連携(応用)	演習	30				1	1	選択							
		心理学的支援法	講義	15			2		2	選択							
		メンタルヘルス論	講義	15				2	2	選択							
		生命倫理	講義	15			1		1	選択	メディカル栄養						
		中医学の基礎	講義	15			1		1	選択	コース選択者						
専		摂食嚥下障害学	講義	15				2	2	選択	(履修推奨)						
門科		ターミナルケア	演習	30				1	1	選択							
目		包括的ヘルスケア論	講義	15				2	2	選択							
		フードスペシャリスト論	講義	15				2	2	選択				\circ			
	関	フードコーディネート論	講義	15				2	2	選択	食創造コース			0			
	連	食マーケティング論	講義	15				2	2	選択	履修者			0			
	連科目	食品の評価・鑑別	講義	15				2	2	選択	(履修推奨)			0	\circ		
	Ħ	分析化学	講義	15			2		2	選択					\circ		
		健康スポーツ指導 I	実習	30	1				1	選択						0	
		健康スポーツ指導 Ⅱ	実習	30		1			1	選択						0	
		健康スポーツ指導Ⅲ	実習	30	1				1	選択						0	
		健康スポーツ指導IV	実習	30			1		1	選択						\circ	
		スポーツ心理学	講義	15		2			2	選択						0	
		健康づくりと運動	講義	15			2		2	選択						\circ	
		安全管理と救急処置	講義	15		2			2	選択						\circ	
		学校栄養教育論	講義	15	2				2	選択							\circ
		学校栄養教育実践論	講義	15			2		2	選択							\circ
	教職論		講義	15	2				2								0
	教育原理		講義	15		2			2								0
	教育心理学		講義	15		2			2					L			0
	教育行政学	:	講義	15			2		2								0
	人権教育		講義	15	<u> </u>	_	2		2								0
<u> </u>	特別支援教		講義	15		-	2		2								0
自由	教育課程論		講義	15			2		2								0
科		理論と指導法	講義	15		-	2		2	自由							0
目		び総合的な学習の時間	講義	15			2		2								0
		i(ICT活用を含む)	講義	15	<u> </u>	_	2		2								0
		び進路指導論	講義	15		_	2		2								0
	教育相談	THE COLUMN TWO IS NOT	講義	15	<u> </u>		2		2					<u> </u>			0
		習(栄養教諭)	演習	15				2	2								0
	事前・事後		実習	30				1	1								0
	栄養教育実	習	実習	45				1	1								\circ

リベラルアーツ教育科目は21単位以上修得すること(必修11単位、選択必修4単位、選択6単位)。 専門科目は107単位以上修得すること(必修61単位、選択46単位)。

リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

<履修登録単位の上限>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、 <u>48単位以内</u>とする。

ただし、非要卒科目(自由科目)に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。 その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター(修学担当)にて所定の手続きを行うこと。

<履修登録上限単位の緩和>

2020年度入学生より、学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。 履修単位数の緩和を希望する学生は、P.5を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター(修学担当)にて所定の手続きを行うこと。

<関連資格について>

食品衛生監視員および食品衛生管理者の資格取得に必要な必修科目39単位及び選択科目1単位以上を修得すること。 (詳細は281ページ参照)

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。 資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

健康科学部 健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻

〈2023年度以降入学生対象〉

							単	位数						関	連資	格	-
	区分		学科目	授業形態	1単位当たりの 授業時間数	1 年	2 年	3 年	4 年	単位計	必・選・自	備考	栄養士	フードスペシャリスト	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
		共	仏教の人間観I	講義	15	2				2							
		共 通	仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2							
	:	7	京都光華の学び アカデミックスキル入門	演習	30 30	1				1							
		ア 科	アカデミックライティング	演習	30	1				1	必修						-
		177 	データサイエンス入門	演習	30	1				1						0	0
			伝統文化	演習	30			1		1							
			総合英語I	演習	30	1				1						0	0
			総合英語 II English in Use A	演習	30 30	1	1	T		1						0	0
	コ	!	English in Use B	演習	30		1			1							
	3. 7		English in Use C	演習	30		1			1							
		. 外	English in Use D	演習	30		1			1							
	ケ	玉	English in Use E	演習	30		1	-		1							
		語	English in Use F 医療英語	演習	30 30		1			1							
	シ ョ		中国語I	演習	30		1			1							
	ン		中国語Ⅱ	演習	30		1			1							
			ハングルI	演習	30		1			1	選択						Ļ
			ハングル Ⅱ 海外での語学研修	演習 実習	30 30		1	2		1			-				1
ŀ			健康の科学	講義	30 15		2	1		2			-			 	
			食生活と健康	講義	15		2			2							
	ス	。健	生涯スポーツ入門	講義	15		2			2							
	1	尿	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1	Ļ			1						0	0
	リッツ	, E	スポーツ実技 I アダプテッドスポーツ	実習実習	30 30		1			1						0	0
			マインドフルネス	実習	30		1			1							-
			教養囲碁入門	実習	30		1			1							
IJ			哲学と倫理	講義	15		2			2							
ベラ			くらしのなかの宗教	講義	15		2			2							
ル			仏教文化 文化 1 類常	講義	15 15		2	-		2							-
ア			文化人類学言語と文学	講義講義	15		2			2							-
リツ			日本文化の理解	講義	15		2			2	Nation No. 16						
教		I 群	京都の歴史と文化	講義	15		2			2	選択必修 2単位						
育			芸術文化論	講義	15		2			2	- 1 123						
科目			サブカルチャー論 現代アジア事情	講義講義	15 15		2			2							-
Н	人文		現代欧米事情	講義	15		2			2							
	·		国際社会の理解	講義	15		2			2							T
	社		国際社会とジェンダー	講義	15		2			2							
	会・		心理学 社会学	講義講義	15 15		2			2			-				├
	自		日本国憲法	講義	15		2			2			-			0	С
	然		現代社会と法	講義	15		2			2							Ť
			現代社会と政治	講義	15		2			2							
		П	くらしのなかの経済学	講義	15		2			2	選択必修						<u> </u>
		群	くらしのなかの統計学 情報社会の理解	講義	15 15		2	1		2	2単位		-			 	-
			生命の科学	講義	15		2	1		2							T
			生活と物理・化学	講義	15		2			2							
			地域と環境	講義	15		2	1		2			<u> </u>				<u> </u>
			生活と防災 ボランティア論	講義講義	15 15		2	1		2							⊨
ŀ		±	情報リテラシー	演習	30	1	Ī	 		1						0	0
		キャ	情報技術の理解	講義	15		2			2						É	Ĕ
		IJ	数的処理の基礎	演習	30		1			1							
		ア デ	読解と思考の技法 Webデザイン	演習	30 15		1	2		1 2	選択						1
		ザ	産官学連携プロジェクト	演習	15		2	Î		2							\vdash
		イン	キャリア実習	演習	30		1	L									L
ļ		_	インターンシップ	実習	30			2		2							Ļ
	ż	ェデ	データサイエンスのための数学 プログラミング入門	講義	15 15		2	1 1		2			<u> </u>				<u> </u>
	A	·/	AIへのアプローチ	講義	15		_	2		2	選択		-			-	
	1 -	・サ	データサイエンスへのアプローチ	講義	15			2		2							†
		イ	データサイエンスPBL	演習	15			2		2							
	1	基	基礎ゼミ	演習	30	1	1			1	必修		<u> </u>				<u> </u>
		选	生命科学の基礎 専門職の連携(基礎)	講義講義	15 15	2	-			2	业修 必修		-			<u> </u>	<u> </u>
ŀ	<u></u> ۲+	- ,	今門職の連携(基礎) 公衆衛生学 I	講義	15	4	2			2	业修 必修		0				0
	会	と健康	公衆衛生学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		0				0
	生	康	健康管理論	講義	15	2				2	選択				0		
	估	1	健康評価実習	実習	45		1			1	必修		0		0		0

						単	位数						関	連資	格	
			授						1	必		栄養	フー	健康	栄養	中
	区	学科目	業	1単位当たりの					単位	選	備考	士	ドス	運	教	高
	分		形態	授業時間数	1 年	2 年	3 年	4 年	計	· 自	J.I. V		ペシャ	動指	諭二	免保
													リス・	導士	種	体
		人体の構造と生理 I	講義	15	2				2	必修		0	1			0
	人 体	人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2		0	2	選択		0				0
	の	生活習慣病論 運動生理学	講義講義	15 15	2	1		2	2	選択				0		0
	構	<u>運動生埋子</u> バイオメカニクス	講義	15			2		2	選択				0		0
	造 と	生化学 I	講義	15	2		2		2	必修		0		0		
	機	生化学Ⅱ	講義	15		2			2	選択		Ō				
	能	人体の構造・生理実験	実験	45		1			1	選択		0				
		生化学実験	実験	45			1		1	選択		0				
		食品学 I 食品学 II	講義講義	15 15	2	0			2	业修 必修		0	0			
	食品	食品衛生学	講義	15		2			2	业修 必修		0	0			
	ح	食品加工学	講義	15		2			2	選択						
	衛	食品学実験 I	実験	45		1			1	選択		0	0			
	生	食品学実験Ⅱ	実験	45		1			1	選択			0			
		食品衛生学実験	実験	45			1		1	必修			_	_		_
		基礎栄養学I	講義	15	2	-	1		2	必修		0	0	0		
	224	基礎栄養学 I	講義講義	15 15	-	2	-		2	业修 必修		0		0		
	栄養	応用栄養学Ⅱ	講義	15	 		2		2	必修						
	ح	臨床栄養学I	講義	15	t		2		2	選択		0				
	健	臨床栄養学Ⅱ	講義	15				2	2	選択						
	康	栄養学実験	実験	45		1			1	選択		0				
		応用栄養学実習 55.00000000000000000000000000000000000	実習	45			1		1	選択		0				
		臨床栄養学実習 栄養教育論 I	実習講義	45 15	-	2	1		2	選択		0		-		
	栄	未養教育論 II	講義	15		2	2		2	選択		0				
	養	公衆栄養学	講義	15			2		2	必修		0				
	の 指	栄養疫学	講義	15				2	2	選択						
	導	栄養教育論実習	実習	45			1		1	選択		0				
		公衆栄養学実習	実習	45			1		1	選択		0				
専		調理学	講義	15	2		-	1	2	必修		0	0			<u> </u>
門	給	給食マネジメント論 調理実習基礎	講義実習	15 45	1	1	2		2	业修 必修		0	0			₩
科目	食	調理実習応用	実習	45	1	1			1	選択		0	0			H
	の 運	食生活と調理実習	実習	45		1			1	選択			Ŭ			\vdash
	営	給食マネジメント実習 I	実習	45			1		1	選択		0				
	-	給食マネジメント実習Ⅱ	実習	45			1		1	選択		0				
		臨地実習	実習	45		_		1	1	選択		0				
		生涯スポーツ論 健康づくりと運動	講義	15 15	2	0			2	必修 選択						0
	_	スポーツ医学	講義講義	15		2	2		2	選択				0		0
	ス ポ	安全管理と救急処置	講義	15			2		2	選択				0		Ö
	Ĩ.	スポーツ心理学	講義	15		2			2	選択				Ō		0
	ツ	スポーツ社会学	講義	15		2			2	選択						0
	と	アダプテッドスポーツ論	講義	15				2	2	選択						
	健 康	体育・スポーツ原理	講義	15	<u> </u>	2	-		2	選択		<u> </u>		-		0
		体育・スポーツ史 学校保健	講義講義	15 15	1	2	2		2	選択選択		-		-		0
		トレーニング論	講義	15	 	2	4	Ī	2	選択						0
		コーチング論	講義	15	T	<u>,</u>	2		2	必修						
		スポーツマネジメント論	講義	15			2		2	選択						0
	運	健康スポーツ指導法 I	実習	30	1	-			1	選択		lacksquare		0		
	動	健康スポーツ指導法Ⅱ	実習	30	<u> </u>	1			1	選択		-		0		
	・ス	健康スポーツ指導法Ⅲ (体つくり運動・器械運動) 健康スポーツ指導法Ⅳ (水泳・水中運動)	実習実習	30	 	1			1	選択選択		<u> </u>		0		0
	ポ	健康スポーツ指導法V(ダンス)	実習	30	 	1			1	選択						0
	1	健康スポーツ指導法VI (陸上競技)	実習	30		1			1	選択						0
	ツ	健康スポーツ指導法VII(ゴール型・ベースボール型球技)	実習	30		1			1	選択						Ö
	指導	健康スポーツ指導法VII(ネット型球技)	実習	30		1			1	選択						0
	-14-	健康スポーツ指導法Ⅸ(柔道)	実習	30	<u> </u>	1			1	選択		<u> </u>				0
		健康スポーツ指導法X (野外活動) インストラクター現場実習	実習実習	30 30	1	1		2	2	選択選択		-		0	-	0
}	とス	インストラクター現場美質 スポーツ栄養学	美省 講義	30 15	-	2	1		2	選択 必修		-				0
		スポーツ栄養学実習	実習	30			1		1	選択						
	Nr. 1	栄養・運動指導実習	実習	30				1	1	選択	<u> </u>			0		
	と食	食品開発論	講義	15			2		2	選択						
	文生 化活	京都の食文化	講義	15	<u> </u>	_	2		2	選択		<u> </u>				<u> </u>
		食文化研修	実習	30 15	<u> </u>	1	2		2	選択選択						
	ジ食 ネと	フードシステム論 食マーケティング論	講義講義	15	\vdash	1	2		2	選択		-	0			
	スビ	食品開発演習	演習	30		1	_	1	1	選択						
	-	健康プロジェクトI	講義	15		2	L		2	選択						
	専 科門	健康プロジェクトⅡ	演習	30			1		1	選択						
	目発	健康総合演習A	演習	30				1	1	選択						
	展	健康総合演習B	演習	30	<u> </u>			1	1	選択		<u> </u>		-		
		卒業研究	-	_				4	4	必修	1	l				l

						単位	立数						関	連資	格	
	区 分	学科目	授業形態	1単位当たりの 授業時間数	1 年	2 年	3 年	4 年	単位計	必 選 · 自	備考	栄養士	フー ドスペシャリスト	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
		専門職の連携(応用)	演習	30			1		1	選択						
		包括的ヘルスケア論	講義	15			4	2	2	選択						
専		フードコーディネート論	講義	15			2		2	選択			0			
門		食品の評価・鑑別	講義	15				2	2	選択			0			
科		フードスペシャリスト論	講義	15				2	2	選択			0			
目	関連	製菓実習	実習	45				1	1	選択						
	科	消費者心理学	講義	15			2		2	選択						
	目	経営法務	講義	15				2	2	選択						
		栄養教諭のための理論と実践	講義	15			2		2	選択					0	
		保健体育科指導法 I	講義	15		2			2	選択						0
		保健体育科指導法Ⅱ	講義	15			2		2	選択						0
		保健体育科指導法Ⅲ	講義	15			2		2	選択						0
		保健体育科指導法IV	講義	15			2		2	選択						0
		教職論	講義	15	2				2	自由					0	0
		教育原理	講義	15		2			2	自由					0	0
	自	教育心理学	講義	15		2			2	自由					0	0
	由 科	教育行政学	講義	15			2		2	自由					0	0
	目	人権教育	講義	15			2		2	自由					0	0
	<u> </u>	特別支援教育	講義	15			2		2	自由					0	0
	教	教育課程論	講義	15			2		2	自由					0	0
	職	道徳教育の理論と指導法	講義	15			2		2	自由					0	0
	及	特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15			2		2	自由					0	0
	CK.	教育方法論 (ICT活用を含む)	講義	15			2		2	自由					0	0
	資	生徒指導及び進路指導論	講義	15			2		2	自由					0	0
	格	教育相談	講義	15			2		2	自由					0	0
	関連	教職実践演習(栄養教諭)	演習	15				2	2	自由					0	
	科	教職実践演習(中・高)	演習	15				2	2	自由						0
	月	事前・事後指導	実習	30				1	1	自由					0	0
	C)	栄養教育実習	実習	45				1	1	自由					0	
		教育実習(中・高) I	実習	30				2	2	自由						0
		教育実習(中・高)Ⅱ	実習	30				2	2	自由						0

リベラルアーツ教育科目は<u>30単位</u>以上修得すること(必修11単位、選択必修4単位、選択15単位)。 専門科目は<u>98単位</u>以上修得すること(必修50単位、選択48単位)。 リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて<u>**計128単位以上修得**</u>すること。

<履修登録単位の上限>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、<u>48単位以内</u>とす る。 ただし、非要卒科目(自由科目)に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。 その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター(修学担当)にて所定の手続きを行うこと。

<履修登録上限単位の緩和>

【慶宮歌上版平址ン歌刊イ 2020年度入学生より、学期6PAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。 履修単位数の緩和を希望する学生は、P.5を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター(修学担当)にて所定の手続きを行うこと。

<関連資格について>

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。 資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

健康科学部 看護学科

〈2023年度入学生対象〉

		入学生対象〉				単位	立数						関連資	各
区	分	学科目	授業形態	1単位当 たりの授 業時間数	1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	看護師	(養護教諭二種◎)	養護教諭一種
		仏教の人間観 I	講義	15	2			•	2			0		
	共	仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2			0		Ш
道 =	田 コ	京都光華の学び	大学能 講義 議義 習習習習習習習習習習習習習習習習習習習習習習習習習習習習習習習習習						1			0		щ
フ 科	7 31	アカデミックスキル入門 アカデミックライティング							1	必修		0		₩
	** ∃	データサイエンス入門							1	北市			0	0
		伝統文化		たりの授業時間数	1			0		Ť				
		総合英語 I		30	1				1			0	0	0
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				1			\circ	0	0
		English in Use A							1					
コ		English in Use B							1			Ш		igspace
3 2		English in Use C							1			Н		${f H}$
	外	English in Use D English in Use E							1					₩
ケー	国語	English in Use F							1					${}^{+}$
シ		医療英語							1					\Box
3		中国語I		30		1			1					\Box
ン		中国語Ⅱ	演習	30		1			1					
		ハングル I		30		1			1	選択				
		ハングルⅡ							1	送八				
		海外での語学研修					2		2					_
		健康の科学							2			\blacksquare		Н
		食生活と健康 生涯スポーツ入門							2					++
スポ	健康と	スポーツ実技Ⅰ							1			_	0	0
1	康レ	スポーツ実技Ⅱ				1			1				0	0
ツ	_	アダプテッドスポーツ		30		1			1					\Box
		マインドフルネス	実習	30		1			1					
		教養囲碁入門							1					
		哲学と倫理							2					Ш
		くらしのなかの宗教							2			\blacksquare		Н
		仏教文化							2					++
		文化人類学 言語と文学							2			\vdash		\forall
		日本文化の理解							2			H		\vdash
	I 群	京都の歴史と文化			:	2			2	選択必修 2単位				
	41+	芸術文化論		15					2	4平世				
		サブカルチャー論							2			Ш		Ш
ı,		現代アジア事情							2			Щ		\sqcup
人文		現代欧米事情 国際社会の理解							2			Ш		\vdash
		国際社会の理解 国際社会とジェンダー							2			\vdash		\vdash
社会	-	心理学							2			H		\vdash
自		社会学							2			Н		\Box
然		日本国憲法			_ :	2			2				0	0
		現代社会と法	講義						2					
		現代社会と政治							2			Ш		Ш
	П	くらしのなかの経済学							2	選択必修		Щ		Ш
	群	くらしのなかの統計学							2	2単位		Н		\vdash
		情報社会の理解 生命の科学		15 15		2			2			Н		\vdash
		生活と物理・化学	講義	15		2			2			Н		\vdash
		地域と環境	講義	15		2			2			H		\vdash
		生活と防災	講義	15		2			2			Н		\Box
		ボランティア論	講義	15	:	2			2					П

						単位	立数					II.	関連資格	各
×	(分	学科目	授業形態	1単位当 たりの授 業時間数	1年	2年	3年	4年	単位計	必·選·自	備考	看護師	(養護教諭二種◎)	養護教諭一種
	-د	情報リテラシー	演習	30	1			l	1				0	0
	キ ヤ	情報技術の理解	講義	15	6	2			2					
	IJ	数的処理の基礎	演習	30		1			1					
	ア デ	読解と思考の技法	演習	30		1			1	選択				
	ザ	Webデザイン	演習	15		:	2		2					
	1	産官学連携プロジェクト	演習	15	4	2			2					
	`	インターンシップ	実習	30			2		2					
	_ デ	データサイエンスのための数学	講義	15	4	2			2					
A S	ェデー・	プログラミング入門	演習	15	- 4	2			2			Ш		Ш
I	ッ グ	AIへのアプローチ	講義	15			2		2	選択		Ш		Ш
	・サイ	データサイエンスへのアプローチ	講義	15			2		2					
<u> </u>	- 1	データサイエンスPBL	演習	15			2		2					
		日本語F I	演習	30	1				1					Щ
J	卻	日本語FⅡ	演習	30	1				1	外国人		\vdash		
1	留 学	日本語S I	演習	30		1			1	留学生				-
:	生	日本語SⅡ	演習	30	1	1			1	必修				
		日本事情 I 日本事情 II	演習	30	1				1					-
-	1	口本事情 II 人体の構造と生理機能	演習	30	2				2			0		0
		病気の成り立ち	講義	15	2				2			0		
		からだの防御の仕組み	講義	15	1				1			0		0
		薬理学	講義	15	1				1			0		0
		診断と治療 Ⅰ	講義	30		2			2			0		-
		診断と治療Ⅱ	講義	15		2			2			0		\vdash
		基礎ゼミ	演習	30	1				1	必修		0		
	人	公衆衛生学	講義	15		2			2			0		0
専	間	社会保障論	講義	15		2			2			0		
門	0)	ホリスティック・ヘルスI	講義	15	1				1			\circ		
基礎	生活	専門職の連携(基礎)	講義	15	2				2			0		
科	と	生命倫理	講義	15	1				1			0		
目	社	生化学	講義	15	2				2					
	会	看護と栄養	講義	15			2		2					0
		生物の基礎	講義	15	2				2			Ш		Щ
		化学の基礎	講義	15	2				2			Ш		Ш
		ホリスティック・ヘルスⅡ	演習	30	1				1	選択		Ш		Щ
		女性と健康	講義	15	1				1					
		中医学の基礎	講義	15		1			1			Щ		Щ
		専門職の連携(応用)	演習	30			0	1	1			Н		$\vdash \vdash$
		包括的ヘルスケア論	講義	15	0	ı	2		2					₩
		看護学原論 看護コミュニケーション	講義	15 15	2	 			2			0		0
		有護コミュニクーション 日常生活を支える看護技術 I	講義 演習	30	1	 			1			0		0
		日常生活を支える看護技術 II	演習	30	2	 			2			0		0
	看	治療・診断過程に伴う看護技術	演習	30		2			2			0		
	護	看護過程論演習	演習	30		2			2			0		Н
	の基	有 段 過 住 職 仮 自 フィジカルアセスメント概論	講義	15		1			1	必修		0		Н
	基礎	フィジカルアセスメント演習	演習	30		1			1			0		0
	.,.	仏教看護論Ⅰ	講義	15		1			1			0		-
		仏教看護論Ⅱ	講義	15			!	1	1			0		П
		看護倫理 I	講義	15	1				1			0		П
		看護倫理Ⅱ	講義	15		•		1	1			0		П

						単位	立数					ß	 退連資	各
区	(分	学科目	授業形態	1単位当 たりの授 業時間数	1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	看護師	(養護教諭二種◎)	養護教諭一種
		母性看護学概論	講義	15		2			2			0		
		小児看護学概論	講義	15		2			2			0		0
		成人看護学概論	講義	15		2			2			0		Ш
		老年看護学概論	講義	15		2			2			0		++
		精神看護学概論 在宅看護学概論	講義講義	15 15		2			2			0		++
		地域看護学概論	講義	15		1			1			0		0
		母性看護学援助論	講義	15		1			1			0		\vdash
1		母性看護学演習	演習	30		1	1		1			0		\vdash
1		小児看護学援助論	講義	15		1			1			0		\forall
1		小児看護学演習	演習	30			1		1	必修		0		\Box
1	看	成人看護学援助論	講義	15		2			2			0		П
1	護の	成人看護学演習	演習	30			2		2			0		П
	展	老年看護学援助論	講義	15		1			1			0		
	開	老年看護学演習	演習	30			1		1			\circ		
専		精神看護学援助論	講義	15		1			1			0		0
門		精神看護学演習	演習	30			1		1			\circ		0
科目		在宅看護学援助論	講義	15		2			2			0		
-		在宅看護学演習	演習	30			1		1			0		Ш
		緩和ケア	講義	15			2		2			0		Ш
		医療安全	講義	15			1		1			0		
		疫学 保健統計学	講義講義	15 15			2		2			\vdash	0	0
		学校保健	講義	15		2	4		2	選択			0	0
		産業保健	講義	15		2	1		1	Æ1/\			0	
		健康教育論	講義	15		2	1		2				0	\Box
		基礎看護学実習 I	実習	45	1				1			\circ		T
		基礎看護学実習Ⅱ	実習	45		2			2			0		
		看護技術実習	実習	45			2		2			\circ		
	看	母性看護学実習	実習	45			2		2			0		
	護	小児看護学実習	実習	45			2		2			0		0
	の	慢性期看護学実習	実習	45			2		2	必修		0		Щ
	実践	急性期看護学実習	実習	45			2		2			0		0
		老年看護学実習 I	実習	45			1		1			0		Ш
1		老年看護学実習Ⅱ	実習	45	-		2		2			0		
1		精神看護学実習 在宅看護学実習	実習	45	-		2		2			0		0
1	-	任毛有護子美省 研究方法論	実習演習	45 30	1		3		3			0		\vdash
1	_	家族看護学	講義	15			2		2			0		0
1	看護	看護政策学	講義	15			۵	1	1			0		\vdash
1	の	卒論ゼミ	演習	30				2	2	\ lbe		0		\Box
	統合	看護管理論	講義	15				1	1	必修		0		\Box
1		コンテンポラリーナーシング	講義	15				1	1			0		
1	発展	災害看護論	講義	15				1	1			0		
	展	統合看護学実習	実習	45				2	2			0		Ш
		国際看護活動論	講義	15				1	1	選択		Ш		Ш
		公衆衛生看護学概論	講義	15			2		2			Ш	0	Щ
1	専	対象別公衆衛生看護活動論	講義	15			2		2			$\vdash \vdash$	0	Н
	門手	保健医療福祉行政論	講義	15	-		2	-	2			\vdash	0	\vdash
自由	看 護	保健医療福祉行政論演習 公衆衛生看護学演習	演習演習	30 30				3	3			\vdash	0	\vdash
由科	保	公來衛生看護子俱智 公衆衛生看護技術論 I	演習	30			2	J	2	自由		\vdash	0	\vdash
目	健師	公衆衛生看護技術論Ⅱ	演習	30			2		2			\vdash	0	\vdash
	課	公衆衛生看護学実習 I	実習	45			1		1			\vdash	0	\forall
	程	公衆衛生看護学実習Ⅱ	実習	45				3	3			H	0	\Box
		公衆衛生看護学実習Ⅲ	実習	45				1	1			H	0	\Box
I				10							1	ш		

					単位	位数					ļ	関連資格	各
区分	学科目	授業形態	1単位当 たりの授 業時間数	1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	看護師	(養護教諭二種◎)	養護教諭一種
	教職論	講義	15	2				2					0
	教育原理	講義	15		2			2					\circ
	教育心理学	講義	15		2			2					\circ
	教育行政学	講義	15			2		2					\circ
	人権教育	講義	15			2		2					\circ
	特別支援教育	講義	15			2		2					\circ
教	教育課程論	講義	15			2		2					\circ
職	道徳教育の理論と指導法	講義	15			2		2	自由				\circ
科 目	特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15			2		2	日田				\circ
目	教育方法論(ICT活用を含む)	講義	15			2		2					\circ
	生徒指導及び進路指導論	講義	15			2		2					\circ
	教育相談	講義	15			2		2					\circ
	養護概説	講義	15		2			2					\circ
	事前・事後指導	実習	30				1	1					\circ
	養護実習	実習	45				4	4					\circ
	教職実践演習 (養護教諭)	演習	15				2	2					\circ

リベラルアーツ教育科目は<u>20単位</u>以上修得すること(必修11単位、選択必修4単位、選択5単位)。 専門科目は<u>108単位</u>以上修得すること(必修98単位、選択10単位)。 リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて<u>**計128単位以上修得すること。**</u>

(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

<履修登録単位の上限>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する 科目については、48単位以内とする。ただし、非要卒科目(自由科目)に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがあ る。その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター(修学担当)にて所定の手続きを行うこ と

<関連資格について>

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。 資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

健康科学部 心理学科

〈2023年度以降入学生対象〉

				1 出 仁 小		単化	立数		-					資格	_
区 分		学 科 目	授業形態	1単位当 たりの 授業数 間数	1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	公認心理師	社会調査士	認定心理士	
		仏教の人間観 I	講義	15	2				2			Hills			t
	共	仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2						1
	通	京都光華の学び	演習	30	1				1						1
	コっ	アカデミックスキル入門	演習	30	1				1						1
	ア 科	アカデミックライティング	演習	30	1				1	必修					1
	目	データサイエンス入門	演習	30	1				1						1
		伝統文化	演習	30			1		1						1
		総合英語I	演習	30	1				1						1
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				1						1
		English in Use A	演習	30		1			1						1
١.	-	English in Use B	演習	30		1			1						1
	- -	English in Use C	演習	30		1			1	277 (#					1
	ユ	English in Use D	演習	30		1			1	選択					1
	二外	English in Use E	演習	30	-	1			1						1
	ケ国ー語	English in Use F	演習	30		1			1						1
	一語シ	医療英語	演習	30		1			1			1			1
	3	中国語 I	演習	30		1			1			1			1
3	~	中国語Ⅱ	演習	30		1			1						1
1		ハングル I	演習	30		1			1			1			1
		ハングルⅡ	演習	30		1			1			1			1
		海外での語学研修	実習	30			2		2						1
		健康の科学	講義	15	:	2			2						1
		食生活と健康	講義	15		2			2						1
	Z	生涯スポーツ入門	講義	15		2			2						1
7	スぱー	スポーツ実技 I	実習	30	1				1						1
	康	スポーツ実技Ⅱ	実習	30	-	1			1						1
3	ッと	アダプテッドスポーツ	実習	30	-	1			1						1
		マインドフルネス	実習	30		1			1						1
		教養囲碁入門	実習	30		1			1						1
		哲学と倫理	講義	15		2			2						1
		くらしのなかの宗教	講義	15		2			2						
		仏教文化	講義	15		2			2						
		文化人類学	講義	15		2			2						
		言語と文学	講義	15		2			2	選択必修 2単位					
		日本文化の理解	講義	15		2			2						1
	I	京都の歴史と文化	講義	15		2			2						1
	群	芸術文化論	講義	15		2			2						1
		サブカルチャー論	講義	15		2			2						1
		現代アジア事情	講義	15		2			2						1
人		現代欧米事情	講義	15		2			2						1
文		国際社会の理解	講義	15		2			2						1
社		国際社会とジェンダー	講義	15		2			2						1
会		心理学	講義	15		2			2						1
•		社会学	講義	15		2			2						1
自然		日本国憲法	講義	15		2			2						1
紒		現代社会と法	講義	15		2			2						1
		現代社会と政治	講義	15		2			2						1
		くらしのなかの経済学	講義	15		2			2						1
	II群	くらしのなかの統計学	講義	15		2			2	選択必修					1
	样	情報社会の理解	講義	15		2			2	2単位		1			1
		生命の科学	講義	15		2			2						1
		生活と物理・化学	講義	15		2			2						1
		地域と環境	講義	15		2			2						1
		生活と防災	講義	15	:	2			2						1
		ボランティア論	講義	15	:	2			2						1
		情報リテラシー	演習	30	1				1						1
	キャ	情報技術の理解	講義	15	:	2			2						1
	リ	数的処理の基礎	演習	30		1			1						1
	ア	読解と思考の技法	演習	30		1			1	選択					1
	デ	Webデザイン	演習	15			2		2						1
	ザ	産官学連携プロジェクト	演習	15	:	2			2						1
	イン	キャリア実習	演習	30		1			1						1
1	_	インターンシップ	実習	30			:	2	2						1
	デー	データサイエンスのための数学	講義	15	:	2			2						1
3	スタ	プログラミング入門	演習	15		2			2						1
	· 9	AIへのアプローチ	講義	15			2		2	選択					1
Ι.	・サ A イ	データサイエンスへのアプローチ	講義	15	 		2		2			1			1
1 1	I T		h11.4%	15			2		2			-			4

		学科目				単化	単位数					関連資格					
区 分			授業形態	1単位当 たりの 授業時 間数	1年	2年	3年	4年	単位計	・必・選・自	備考	公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士		
		日本語F I	演習	30	1				1								
		日本語FⅡ	演習	30	1				1								
	留学	日本語SI	演習	30		1			1	外国人 留学生							
	生	日本語SⅡ	演習	30		1			1	必修							
		日本事情 I	演習	30	1				1								
		日本事情Ⅱ	演習	30	1				1								
		心理学概論	講義	15	2			-	2	必修		0		0			
		社会心理学入門	講義	15	2				2					0			
	心	発達心理学入門(保育の心理学) 臨床心理学入門	講義	15 15	2				2					0	0		
専門	理	心理学統計法	講義講義	15	2				2			0					
基	· +	心理学研究法	講義	15	2				2			0		0			
礎		環境心理学	講義	15	2				2					0			
	'	社会ゲーミング・シミュレーション	講義	15	2				2	選択							
		京都文化心理学	講義	15	2				2					0			
		専門職の連携(基礎)	講義	15	2				2	必修					0		
	基	神経・生理心理学	講義	15		2			2			0		0			
	礎心	知覚・認知心理学	講義	15		2			2			0		0			
	理	学習・言語心理学	講義	15		2			2	選択		0		0			
	学	比較行動学	講義	15		2			2					0			
		公認心理師の職責	講義	15		2			2			0					
		臨床心理学概論	講義	15		2			2	必修		0		0			
	心	心理学的支援法	講義	15		2			2			0		0			
	理	発達心理学	講義	15		2			2			0		0	0		
	援助	障害者・障害児心理学	講義	15		2			2			0		0	0		
	293	子どもの心理臨床	講義	15		2			2					0	0		
		心理的アセスメントⅠ	演習	15		2			2	選択		0		0	0		
		心理的アセスメントⅡ	演習	15		2			2			0		0	0		
	人	青年心理学 教育心理学	講義	15 15		2			2					0			
	間	感情・人格心理学	講義講義	15		2			2			0		0	0		
	関	子どもと人間関係	演習	15		2			2						0		
	係	子どもとことば	演習	15		2			2						0		
専	: -	社会・集団・家族心理学	講義	15		2			2	必修		0		0	0		
門		コミュニティ心理学	講義	15		2			2	2019		Ŭ		0	Ŭ		
応用		司法・犯罪心理学	講義	15		2			2			0		0			
713	人と	産業・組織心理学	講義	15		2			2			0		0			
	現	マーケティング心理学	講義	15		2			2	- - - - -							
	代	消費者心理学	講義	15		2			2					0			
	社会	社会福祉	講義	15		2			2						0		
		児童・家庭福祉(子ども家庭福祉)	講義	15		2			2						0		
		子ども家庭支援論	講義	15		2			2						0		
		スポーツ心理学	講義	15		2		<u> </u>	2	- - -			<u> </u>		<u> </u>		
	デ	社会と統計	講義	15		2		 	2			_	0	_	Ь—		
		心理学実験I	演習	15		2	<u> </u>	<u> </u>	2			0		0			
	タ科	心理学実験 II 心理学データ解析 I	演習	15		2		-	2			0		0	-		
	学		演習	30 30		1		1	1			1	0	0	 		
		心理学データ解析 II 社会とジェンダー	演習講義	30 15		2		1	2			1			\vdash		
	デキ	女性の生き方・働き方	講義	15	2		 	1	2			1					
	ザヤ	七世1·田4·44	講義	15			2		2								
	イリンア	女性と経済	講義	15		2			2								
専		女性のキャリア形成	演習	30			1		1	選択							
門		健康・医療心理学	講義	15			2		2			0		0	0		
科		教育・学校心理学	講義	15			2		2			0		0	0		
目		心理演習I	演習	15			2		2			0		0	0		
		心理演習Ⅱ	演習	15			2		2			0		0	0		
	心理	心理実習I	実習	40			1		1			0					
	接	心理実習Ⅱ	実習	40			1		1			0					
	助	子どもの理解と援助	演習	15			2		2						0		
		子ども家庭支援の心理学	講義	15			2	ļ	2						0		
		発達支援実習	演習	15			2	<u> </u>	2								
		関係行政論	講義	15		<u> </u>	2	<u> </u>	2			0					
	44	福祉心理学	講義	15			2	1	2			0			<u> </u>		
	社・日	人 犯罪者プロファイリング演習	演習	15		<u> </u>	2	<u> </u>	2					0	_		
1	会現	間 対人スキル・コーチング演習 社会的養護 I	演習講義	15 15		-	2	-	2			1			0		
				1.6			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		. ''		1				. ()		

							単作	位数		Ī			関連資格				
	区分		学 科 目	授業形態	1単位当 たりの 授業時 間数	1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士	
		デ	心理学データ解析Ⅲ	演習	30	 		1		1			Hels	0	0		
	-	1	社会調査法	講義	15	_		2		2			1	0			
	専門	タ	社会調査実習 I	実習	30	-	 	1		1				0			
	発	科学	社会調査実習Ⅱ	実習	30	_		1		1			1	0			
	展	7	人体の構造と機能及び疾病	講義	15	\vdash	 	2		2			0			<u> </u>	
			メンタルヘルス論	講義	15	\vdash	 	2		2				 	0	<u> </u>	
			小児看護学	講義	15	\vdash	 	2		2				 	Ť	<u> </u>	
		健	包括的ヘルスケア論	講義	15	 		2		2							
		康	ターミナルケア	演習	30			1		1							
		科学	生命倫理	講義	15	†		2		2							
		7	専門職の連携(応用)	演習	30				1	1	選択					0	
			精神疾患とその治療 I	講義	15	†		2		2			0				
			マインドフルネス心理学	講義	15			2		2							
	ľ		保育原理	講義	15		2			2						0	
			教育原理	講義	15		2			2	1					0	
		II.	保育者論	講義	15		2			2						0	
		保育	子どもの保健	講義	15			2		2						0	
		н	保育の計画と評価	講義	15			2		2						0	
			子どもと健康	演習	15			2		2						0	
		<u> </u>	乳児保育 I	講義	15		:	2		2						0	
			心理学基礎演習 I	演習	30	1				1							
			心理学基礎演習Ⅱ	演習	30	1				1	必修						
			心理学基礎演習Ⅲ	演習	30		1			1	北市						
		専	心理学基礎演習IV	演習	30		1			1							
	心理	門演	心理学専門演習 I	演習	15			2		2	選択	2科目のうち					
	理	習	心理学専門演習 I (保育実践演習)	演習	15			2		2	J251/C	1科目選択必修				0	
	理学演		心理学専門演習Ⅱ	演習	15			2		2							
	便 習		心理学専門演習Ⅲ	演習	15				2	2	必修			<u> </u>			
			心理学専門演習IV	演習	15				2	2							
		応	心理学英語文献講読 I	演習	15			2		2							
		用	心理学英語文献講読Ⅱ	演習	15	<u> </u>	<u> </u>		2	2	1箕沢			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	
		演習	心理学特別演習I	演習	15		<u> </u>	2	<u> </u>	2				<u> </u>	┞——	<u> </u>	
-			心理学特別演習Ⅱ	演習	15				2	2					_		
	論	· 研究	卒業研究	演習	_				4	4	選択	2科目のうち 1科目選択必修			0		
	又	九	卒業論文	演習	_	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	6	6		1件日迭గ火心	-	-	0	<u> </u>	
			グラフィックデザイン	演習	30			1		1			-	-		-	
			ビジュアルデザイン	演習	30			1		1			-	-			
			社会保障 I 社会保障 Ⅱ	講義	15		2			2			-			0	
			仕伝保障Ⅱ 子どもの食と栄養	講義	15 15	\vdash	2	 	\vdash	2			+	 	 	0	
			子育て支援	演習	15		2			2				-		0	
			保育内容総論	演習	15			2		2				-		0	
			乳児保育Ⅱ	演習	15		-	2		2				 		0	
			障害児保育			-		2		2			+	-	 	0	
	J-		社会的養護Ⅱ	演習	15 15	\vdash	 	2	\vdash	2				\vdash	-	0	
	自由		子どもの体育	演習	15	\vdash	 	2	\vdash	2			+	 	 	0	
	科		音楽療法	演習	15	\vdash	 	2	\vdash	2	自由		+	 	 	0	
	目		図画工作	演習	15	\vdash	 	2	\vdash	2			+	 	 	0	
			レクリエーション指導法	演習	30	\vdash	 		1	1			+	 	 	0	
			子どもの健康と安全	演習	15	\vdash	<u> </u>	2	1	2				\vdash		0	
			保育実習指導I	演習	15	 	t –	2		2			1	\vdash	\vdash	0	
			保育実習指導Ⅱ	演習	30	\vdash			1	1				\vdash		0	
			保育実習指導Ⅲ	演習	30	 			1	1			+	†	 	0	
			保育実習I(保育所)	実習	40	\vdash	†	2	Ė	2			1	 	†	0	
			保育実習I(施設)	実習	40	\vdash		2		2						0	
			保育実習Ⅱ	実習	40	t			2	2	1		1	1		0	
				大日	- 10				~								

サステルアーツ教育科目は30単位以上修得すること(必修11単位、選択必修4単位、選択15単位)。 専門科目は98単位以上修得すること(専門基礎必修14単位、専門応用必修8単位、心理学演習必修12単位、卒業研究必修4単位または卒業論文必修6単位いずれかを含む。※選択は卒業研究の場合:60単位、卒業論文の場合58単位修得すること)。 リベラルアーツ教育科目と専門科目合わせて<u>計128単位以上修得</u>すること。

<履修登録単位の上限>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、 48単位以内とする。

<関連資格について>

RZEA (THE → V. C.) カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。 資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

健康科学部 医療福祉学科 〈2023年度入学生対象〉

	50 1 D	2八十二					単化	立数					B	連資	格
	区分	}	学 科 目	授業形態	1単位当 たりの 授業時 間数	1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	社会福祉士	i r y o	言語聴覚士
			仏教の人間観I	講義	15	2		l		2					0
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2					0
		共 通													
		コ	京都光華の学び	演習	30	1				1					0
		ア	アカデミックスキル入門	演習	30	1				1	>> 1 fe				
		科 目	アカデミックライティング	演習	30	1				1	必修				
		Н	データサイエンス入門	演習	30	1				1					
			伝統文化	演習	30			1		1					
			総合英語I	演習	30	1				1					0
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1					0
			English in Use A	演習	30		1			1]			0
			English in Use B	演習	30		1			1					0
	11 ///		English in Use C	演習	30		1			1					0
	=	L	English in Use D	演習	30		1			1					0
		- 外	English in Use E	演習	30		1			1					0
		ァ国 語	English in Use F	演習	30		1			1		言語聴覚専攻は医療英			0
	ં	/	医療英語	演習	30		1			1		語必修、他いずれか1년 位選択必修			0
	ے ک		中国語 I	演習	30		1			1					0
	_		中国語Ⅱ	演習	30		1			1					0
			ハングルI	演習	30		1			1					0
			ハングルⅡ	演習	30		1			1	選択				0
			海外での語学研修	実習	30			2		2		ı			
			健康の科学	講義	15		2	<u> </u>		2		言語聴覚専攻必修			0
							2					吕昭応見号仪必修			
			食生活と健康	講義	15		2			2					
	7	く。健	生涯スポーツ入門	講義	15		۷ ا			2					
	才 1	く、健康	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1		I		1					
	"	, E	スポーツ実技Ⅱ	実習	30		1			1					
			アダプテッドスポーツ	実習	30		1			1					
			マインドフルネス	実習	30		1			1					
			教養囲碁入門	実習	30		1			1					
			哲学と倫理	講義	15		2			2					
			くらしのなかの宗教	講義	15	4	2			2					
			仏教文化	講義	15		2			2					
			文化人類学	講義	15	4	2			2					
IJ			言語と文学	講義	15	:	2			2					
ベ			日本文化の理解	講義	15	-	2			2	選択				
ラル		I 群	京都の歴史と文化	講義	15	:	2			2	必修				
ア		41+	芸術文化論	講義	15	:	2			2	2単位				
ーツ			サブカルチャー論	講義	15	2	2			2					
教			現代アジア事情	講義	15	:	2			2					
育科	人		現代欧米事情	講義	15		2			2					
目	文		国際社会の理解	講義	15		2			2					
	社		国際社会とジェンダー	講義	15		2			2					
	会		心理学	講義	15		2			2			0	0	0
	•		社会学	講義	15		2			2			0	0	0
	自然		日本国憲法	講義	15		2			2					0
	3117		現代社会と法	講義	15		2			2					0
			現代社会と政治	講義			2			2			-		
					15										0
		П	くらしのなかの経済学	講義	15		2			2	選択				0
		群	くらしのなかの統計学	講義	15		2			2	必修 2単位		-		0
			情報社会の理解	講義	15		2			2	- 1 122				0
			生命の科学	講義	15		2			2					0
			生活と物理・化学	講義	15		2			2					0
			地域と環境	講義	15		2			2					0
			生活と防災	講義	15		2			2					0
			ボランティア論	講義	15	:	2			2			Ī	ĺ	0

							単化	立数					B	『連資	格
	区分	₹	学 科 目	授業形態	1単位当 たりの 授業時 間数	1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	社会福祉士	i r y o u	言語聴覚士
			情報リテラシー	演習	30	1		ļ	Į	1					
		キ	情報技術の理解	講義	15		2			2					
		ヤ	数的処理の基礎	演習	30		1			1					
		リ ア	読解と思考の技法	演習	30		1			1					
		ァ デ	Webデザイン	演習	15			2		2	選択				
		ザ	産官学連携プロジェクト	演習	15		2	<u> </u>		2					
		イン	キャリア実習	演習	30		1			1					
			インターンシップ	実習	30		1		2	2					
-			データサイエンスのための数学	講義	15		2			2					
	ン	デー	プログラミング入門	演習	15		2			2					
	7	タ	AIへのアプローチ	講義	15			2		2	選択				
	A	ータサイエ	データサイエンスへのアプローチ	講義	15			2		2	E1/				
	Ι	・ユ	データサイエンスPBL					2		2					
-				演習	15	1									
			日本語FI	演習	30	1				1			-		
		留	日本語FII	演習	30	1	1	1		1	外国人				1
		学	日本語S I	演習	30		1			1	留学生				1
		生	日本語SII	演習	30	-	1			1	必修		-		-
			日本事情I	演習	30	1				1			-		
L			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1					
			包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2	277.157	言語聴覚専攻必修			
	共		生命倫理	講義	15			2		2	選択				0
	通専		ターミナルケア	演習	30		ı	1		1		言語聴覚専攻必修			
	門		専門職の連携(基礎)	講義	15	2				2	必修				0
	科目		専門職の連携(応用)	演習	30				1	1	選択		-		0
			医療福祉連携論	講義	15		2			2	必修				
			障害者福祉	講義	15		2			2	選択		0	0	0
			子どもと社会福祉	講義	15	2				2					
		人	仏教と社会福祉	講義	15		2			2	必修				
		間と	基礎演習 I	演習	30	1				1					
	専門	社	基礎演習Ⅱ	演習	30	1				1					
	基	会	社会福祉の原理と政策 I	講義	15	2				2	選択		0	0	
	礎 科		社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	15	2				2	~= 1/ \		0	0	
	目	医	基礎演習Ⅲ	演習	30		1			1	必修				
		療と	基礎演習Ⅳ	演習	30		1			1	المالية المالية				
		福	保健医療と福祉	講義	15		2			2	選択		0		
		祉	精神保健福祉制度論	講義	15			2		2	25/1			0	
			社会福祉専門演習 I	演習	15			2		2	必修				
			社会福祉専門演習Ⅱ	演習	15			2		2	北市				
			医学知識	講義	15		2			2			0	0	
		社	社会福祉調査の基礎	講義	15		2			2] [0	0	
		任会福	ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	15	2				2] [0	0	
		福 祉	ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門)	講義	15	2				2] [0		
		Ø	ソーシャルワークの理論と方法I	講義	15		2			2	選択		0	0	
		基礎	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	15		2			2	进1八		0	0	
		HÆ	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	講義	15			2		2]		0		
			ソーシャルワークの理論と方法IV	講義	15			2		2]		0		
			地域福祉と包括的支援体制 I	講義	15		2			2] [0	0	
			地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	15		2			2	<u> </u>		0	0	
	Ī		社会福祉専門演習Ⅲ	演習	15				2	2					
			社会福祉専門演習IV	演習	15				2	2	必修				
			卒業研究	演習	_				4	4]				
			ソーシャルワーク演習	演習	15		2			2			0	0	
			ソーシャルワーク演習(専門) I	演習	15		2			2			0		
		社	社会保障 I	講義	15		2			2			0	0	
		会福	社会保障Ⅱ	講義	15		2			2			0	0	
		祉	高齢者福祉	講義	15		2			2			0		
社会		の 展	児童・家庭福祉(子ども家庭福祉)	講義	15		2			2	vaa tiri		0		
福		開	生活保護制度	講義	15		2			2	選択		0		
Żι⊦					<u> </u>	L	·	·	1	·	ı l				1

						単化	立数					B	連資	格
区	分	学 科 目	授業形態	1単位当 たりの 授業時 間数	1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	社会福祉士	i r y o u	言語聴覚士
専		権利擁護を支える法制度	講義	15		2			2			0	0	
攻専		刑事司法と福祉	講義	15		2			2			0	0	
門		福祉サービスの組織と経営	講義	15			2		2			0		
科目		社会的養護 I	講義	15			2		2					
		発達障害と制度	講義	15	2				2					
専門		社会福祉学特講 I	講義	15				2	2					
科		社会福祉学特講Ⅱ	講義	15				2	2					1
目		社会福祉学特講Ⅲ	講義	15				2	2					
		社会福祉学特講IV	講義	15				2	2					
		精神医学と精神医療 I	講義	15			2		2				0	
		精神医学と精神医療Ⅱ	講義	15				2	2				0	
	社会	現代の精神保健の課題と支援 I	講義	15			2		2				0	
	福	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	講義	15			2		2				0	
	祉の	精神保健福祉の原理 I	講義	15			2		2	選択			0	
	応	精神保健福祉の原理Ⅱ	講義	15			2		2				0	
	用	ソーシャルワークの理論と方法(専門) I	講義	15			2		2				0	
		ソーシャルワークの理論と方法(専門) II	講義	15			2		2				0	t
		精神障害リハビリテーション論	講義	15			2		2				0	
		ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	演習	15			2		2			0		1
		ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	演習	15			2		2			0		
		社会的養護Ⅱ	演習	15			2		2					
		ソーシャルワーク演習(専門)IV	演習	15				2	2			0		
		ソーシャルワーク実習指導I	演習	15		2			2			0		
		ソーシャルワーク実習指導II A	演習	15			2		2			0		+
		ソーシャルワーク実習指導II B	演習	15			2		2			0		
	社	ソーシャルワーク実習A	実習	45			4		4			0		_
	会	ソーシャルワーク実習B	実習	45			2		2			0		
	福祉	精神保健福祉演習 I	演習	15			2		2	選択			0	_
	の	精神保健福祉演習Ⅱ	演習	15			-	2	2	22.1/			0	+
	発展	精神保健福祉演習Ⅲ	演習	15				2	2				0	
		精神保健福祉実習指導 I	演習	15			2		2				0	+
		精神保健福祉実習指導Ⅱ	演習	15				4	4				0	+
		精神保健福祉実習A	実習	45				2	2				0	
		精神保健福祉実習B	実習	45				3	3				0	
		基礎ゼミⅠ	演習	30	1				1					
	人	基礎ゼミⅡ	演習	30	1				1	必修				1
専門	間と	言語運用と数的処理の基礎	演習	30	1				1	選択				_
基	社	健康カウンセリング	講義	15		l	2		2	選択				0
礎科	会	社会と統計	講義	15			2		2	必修				0
目	レ圧	社会保障制度 • 関係注相	講義	15			1		1	必修				0
	祉福療	栄養サポート論	講義	15			2		2	選択				0
		臨床医学総論	講義	15	1			I	1					0
		臨床基礎医学	講義	15	2				2					0
	<u>_</u> .	リハビリテーション概論・医学	講義	15		2			2					0
	言語	音声・言語・聴覚医学 I (呼吸発声発語系)	演習	30	1				1					0
	聴	音声・言語・聴覚医学Ⅲ (神経系)	演習	30	1				1					0
	覚療	言語発達学	講義	15	1				1	必修				0
	法の	生涯発達心理学	講義	15		I	2		2					0
	基	認知・学習心理学	講義	15		2			2					0
	礎	臨床心理学	講義	15		1	2		2					0
		言語聴覚障害学概論	講義	15	2				2					0
		聴覚障害学概論	演習	30	1				1					0
		臨床医学I(内科学・小児科学)	講義	15		2			2					0
		臨床医学Ⅱ(耳鼻咽喉科・形成外科)	講義	15		2			2					0
		臨床医学Ⅲ(精神医学・臨床神経学)	講義	15		2			2					0
		臨床歯科医学・口腔外科学	講義	15		1			1					0
		心理測定法	講義	15			2		2					0
		言語学	講義	15	2				2					0
I	1		h13,436	1 10		·				I	I	Щ_	l	

							単化	立数					艮	連資	格
	区分	}	学 科 目	授業形態	1単位当 たりの 授業時 間数	1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	社会福祉士	i r y o u	言語聴覚士
			音声学	講義	15		2		l	2					0
			音響学	講義	15		2			2					0
			失語症 I	演習	30	1		ı		1					0
			失語症Ⅱ	演習	30		1			1					0
		言	高次脳機能障害 I	演習	30		1			1					0
		語聴	高次脳機能障害Ⅱ	演習	30		!	1		1					0
言		覚	言語発達障害学 I A (各論)	演習	30	1				1	21 lder				0
語聴		療法	言語発達障害学 I B (各論)	演習	30		1			1	必修				0
覚		の 展	言語発達障害学Ⅱ (評価)	講義	15		2			2					0
専攻		開	言語発達障害学Ⅲ (指導法)	講義	15			2		2					0
専			発声発語障害 I A (小児構音障害)	演習	30		1			1					0
門科	専		発声発語障害 I B (小児構音障害)	演習	30			1		1					0
目	門門		発声発語障害ⅡA (成人)	演習	30		1		-	1					0
	科目		発声発語障害ⅡB (成人)	演習	30		1			1					0
	п		発声発語障害Ⅲ (吃音)	演習	30		1			1					0
			摂食嚥下障害学	講義	15		2			2					0
			聴覚障害学 I (補聴・人工内耳)	講義	15		1			1					0
			聴覚障害学Ⅱ (小児)	講義	15		2			2					0
			聴覚障害学Ⅲ (成人)	講義	15			2		2					0
			音声・言語・聴覚医学Ⅱ (聴覚系)	演習	30			1		1					0
			言語聴覚障害診断学演習 I (小児)	演習	30			1		1					0
			言語聴覚障害診断学演習Ⅱ(成人)	演習	30			1		1					0
		言	失語症演習	演習	30		1			1					0
		語	高次脳機能障害演習	演習	30			1		1					0
		聴覚	言語発達障害学演習	演習	30			1		1	必修				0
		療	発声発語障害演習 I (小児)	演習	30			1		1					0
		法の	発声発語障害演習Ⅱ (成人)	演習	30			1		1					0
		応用	摂食嚥下障害学演習	演習	30		1			1					0
		т	聴覚障害学演習	演習	30			1		1					0
			画像診断学演習	演習	30			1		1	選択				0
			言語聴覚障害学総合演習(検査・機器)	演習	30			1		1	~= 17.				0
			言語聴覚障害実習 I	実習	30			1		1	必修				0
			言語聴覚障害実習Ⅱ	実習	30			1		1	212				0
			言語聴覚障害実習Ⅲ	実習	30				1	1					0
		言語	言語聴覚障害実習IV	実習	30				1	1	選択				0
		聴	認知症特論	講義	15				1	1					0
		覚 療	摂食嚥下障害学特論	講義	15				1	1					0
		法	卒業研究	演習	_				2	2					
		の発	専門ゼミI	演習	30				1	1					
		展	専門ゼミⅡ	演習	30		ı	ı	1	1	必修				
			臨床実習(見学実習)1週間	実習	45		1			1					0
			臨床実習(評価実習)4週間	実習	45			4		4					0
			臨床実習(総合実習)8週間	実習	45				8	8					\circ

<卒業要件及び履修方法>

1 に云田山 4747 リベラルアーツ教育科目は28単位以上修得すること(必修11単位、選択必修4単位、選択13単位)。専門科目は100単位以上修得すること(必修24単位、選択76単位)。リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。 ※社会福祉専攻の学生は言語聴覚専攻専門科目を履修できない。

【言語聴覚専攻】 リベラルアーツ教育科目は25単位以上修得すること(必修14単位、選択必修5単位、選択6単位)。専門科目は103単位以上修得すること(必修95単位、選択8単位)。リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて<u>計128単位以上修得</u>すること。 ※言語聴覚専攻の学生はリベラルアーツ教育科目の「医療英語」、「健康の科学」、共通専門科目の「包括的ヘルスケア論」、「ターミナルケア」を必修とし、社会福祉専攻専門科目を履修できない。

<履修登録単位の上限>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。 ただし、非要卒科目(自由科目)に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。 その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター(修学担当)にて所定の手続きを行うこと。

<関連資格について>

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。 資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

こども教育学部 こども教育学科

/2023年度	入学生対象〉	
\ZUZ34-14	人子工对象/	

				I-C MI	1単位		単化	立数			コース別	必・選			関連資格	
Þ	マ 分		学 科 目	授業 形態	当たりの時間数	1年	2年	3年 4年	単位計	必・選	幼児教育	学校教育	備考	保育士	幼稚園 (一種)	小学校 (一種)
\vdash			II del es l BB kg v	see also							コース	コース			(一種)	(一種)
	ŧ	t	仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2			2					必		
	i		仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2	-		2					必		
	Ξ		京都光華の学び	演習	30	1			1					必		
	7		アカデミックスキル入門 アカデミックライティング	演習	30 30	1			1	必修	必修	必修		必必		
	禾	-	データサイエンス入門	演習	30	1			1	北川多	92/1IS	紀刊多		必必	必	必
	E	1	伝統文化	演習	30	1		1	1					必必	必	松
-			総合英語I	演習	30	1		1	1					必必	必	必
			総合英語Ⅱ	演習	30	1			1					必必	必	必必
			English in Use A	演習	30		1		1					20	7C'	32,
	コ		English in Use B	演習	30		1		1							
	3		English in Use C	演習	30		1		1							
	2		English in Use D	演習	30		1		1							
	=		English in Use E	演習	30		1		1							
	ケー		English in Use F	演習	30		1		1							
	シ	PII	医療英語	演習	30		1		1							
	3		中国語 I	演習	30		1		1							
	ン		中国語Ⅱ	演習	30		1		1							
			ハングル I	演習	30		1		1	14.85	14.55	`88.4D				
1			ハングルⅡ	演習	30		1		1	選択	選択	選択				
1			海外での語学研修	実習	30			2	2							
1 [健康の科学	講義	15		2		2]				必	必	必
1			食生活と健康	講義	15		2		2]						
	スポ	健	生涯スポーツ入門	講義	15		2		2							
	1	肤	スポーツ実技 I	実習	30	1			1					選必*6	必	必
	ーツ	٤	スポーツ実技Ⅱ	実習	30		1		1					選必*6		
	7		アダプテッドスポーツ	実習	30		1		1							
			マインドフルネス	実習	30		1		1							
			教養囲碁入門	実習	30		1		1							
			哲学と倫理	講義	15		2		2					選		
			くらしのなかの宗教	講義	15		2		2					選		
			仏教文化	講義	15		2		2					選		
IJ			文化人類学	講義	15		2		2					選		
ラ			言語と文学	講義	15		2		2					選選		
ル		Ι	日本文化の理解 京都の歴史と文化	講義講義	15 15		2		2	選択必修	選択必修	選択必修		選		
ア		群	芸術文化論	講義	15		2		2	2単位	2単位	2単位		選		
1			サブカルチャー論	講義	15		2		2					選		
ツ			現代アジア事情	講義	15		2		2					選		
教育	人		現代欧米事情	講義	15		2		2					選		
科	文		国際社会の理解	講義	15		2		2					選		
	社		国際社会とジェンダー	講義	15		2		2					選		
	会		心理学	講義	15		2		2					選		
	:		社会学	講義	15		2		2					選		
	自然		日本国憲法	講義	15		2		2					選	必	必
	///X		現代社会と法	講義	15		2		2					選		
			現代社会と政治	講義	15		2		2					選		
1		Π	くらしのなかの経済学	講義	15		2		2	湿却ひめ	選択必修	湿扣ひか		選		
1		群	くらしのなかの統計学	講義	15		2		2	選択必修 2単位	選択必修 2単位	選択必修 2単位		選		
1			情報社会の理解	講義	15		2		2					選		
1			生命の科学	講義	15		2		2	1				選		
1			生活と物理・化学	講義	15		2		2					選		
			地域と環境	講義	15		2		2	-				選		
			生活と防災	講義	15		2		2	-				選		
1 }			ボランティア論	講義	15 30		<u>-</u>	<u> </u>	2					選	.iv	i)
1	7		情報リテラシー 情報技術の理解	演習	30 15	1	2		1 2	1				選選	必	必
	1		情報技術の理解 数的処理の基礎	講義	30		1		1	1				選		
	リラ		読解と思考の技法	演習	30		1		1					選		
	ラ		mmと あちい 技伝 Webデザイン	演習	15			2	2	選択	選択	選択		選		
	t		産官学連携プロジェクト	演習	15		2	'	2	1				選		
	1		キャリア実習	演習	30		1		1	1						
1	۲	_	インターンシップ	実習	30			2	2	1						
		デ	データサイエンスのための数学	講義	15		2		2					選		
1		= 1	プロガニコンガエ田	演習	15		2		2	1				選		
1	n ~	27	11 ng-d- 1	講義	15		:	2	2	選択	選択	選択		選		
1	1 /	゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚	データサイエンスへのアプローチ	講義	15			2	2	1				選		
1		イ	データサイエンスPBL	演習	15			2	2	<u></u>				選		
1 [日本語F I	演習	30	1			1							
1	r	77	日本語FⅡ	演習	30	1			1	4 = .	4 = -	AL EST				
1	旨当		日本語S I	演習	30		1		1	外国人 留学生	外国人 留学生	外国人 留学生				
	4		日本語SⅡ	演習	30		1		1	必修	必修	必修				
			日本事情 I	演習	30	1	<u> </u>		1							
1 !			日本事情Ⅱ	演習	30	1	<u> </u>		1							

_		-				1	単位	No.			コース別	.iV . 366	1		関連資格	
区	\triangle		学 科 目	授業	1単位 当たりの		平12.	奴	単位計	必・選			備考			1 206.4-4
<u> </u>	//		J 41 H	形態	時間数	1年	2年	3年 4年	+-177 H1		幼児教育 コース	学校教育 コース	Via9	保育士	幼稚園 (一種)	小学校 (一種)
\vdash	姜	汝	教育原理	講義	15	2			2					必	必	必
	1	te:	子どもの理解と援助	演習	15	2			2					必必	必必	20
	-	٠	教育の制度・運営	講義	15	۷	<u> </u>	2	2					必必	必必	必
	係	^ -	人権教育	講義	15			2	2	必修	必修			必	必必	必必
専			仏教教育論	講義	15			2	2			必修			紀	北
F		₩.	音楽Ⅰ	演習	30	1	1	2	_			3E7,188		必	必	必
差	吉田	遊	百栄 I 国語(書写を含む。)	講義	15	2	-		2					业	业	必必
彰		#	算数			2				選択	選択					
和				講義	15	2	0		2	进扒	进八					必
	1 7		生活 音楽Ⅱ	講義	15 30	-	2		2					24	3/	必必
	麦	Ħ.	1 1		30	1	+ ,			選択	選択	選択		必	必	
	磁	逆	音楽Ⅲ	演習			1		1					必	必	必
	乖		図画工作I	演習	30		1		1	必修	必修	必修		必	必必	必必
1 –	E	_	体育Ⅰ	実習	30		1		1		N88.4m			必		业
		- 1	保育者論	講義	15		2		2		選択			必	選必*2	
		- 1	保育内容総論	演習	15	2			2		必修			必	必必	
			保育の計画と評価	講義	15	2	-		2		選択			必	選必*3	
		- 1	保育の心理学	講義	15	2	1	0	2		必修			必	選必*1	
		- 1	保育方法論	講義	15			2	2		選択			選必	選必*4	
			子ども家庭支援の心理学	講義	15		2		2		選択			必	選必*5	<u> </u>
		- 1	保育内容研究	演習	15			2	2		選択			選	選	<u> </u>
		- 1	健康	講義	15	2			2					必	必	⊢—
			人間関係	講義	15	2			2		N. 44-			必	必	⊢—
		- 1	言葉	講義	15	2			2		必修			必	必	⊢—
		- 1	環境	講義	15	2			2					必	必	⊢—
		- 1	表現	講義	15	-	2		2		-			必	必	—
		- 1	保育内容(健康)	演習	30	1			1					必	必	⊢—
			保育内容(人間関係)	演習	30	1	 		1					必	必	⊢—
		- 1	保育内容(言葉)	演習	30		1		1		必修			必	必	—
			保育内容(環境)	演習	30	-	1		1					必	必	⊢—
			保育内容(総合表現Ⅰ)	演習	30		1	, 1	1		Ī			必	必	₩
			保育内容(総合表現Ⅱ)	演習	30			1	1					必	必	
			保育内容(総合表現Ⅲ)	演習	30 30			1	1					選	選選	
	仔	木	体育Ⅱ(幼児) 音楽IV	演習	30		1		1	選択		選択		必必	必	選
	育	Ħ F	音楽V	演習	30		1	1	1					選必	選	選
	道	~ -	音楽VI	演習	30		l l	1	1					選必	選	選
			音楽VII	演習	30			1	1					選必	選	選
	E	L	保育原理	講義	15	2			2					必		
		- 1	子ども家庭福祉	講義	15	2			2					必		
		- 1	社会福祉	講義	15	2			2					必		
		- 1	子育て支援	演習	30		1		1					必		
			社会的養護 I	講義	15		2		2		選択			必		
			子どもの保健	講義	15		2		2		J227/			必		
			子どもの健康と安全	演習	30			1	1					必		
			子どもの食と栄養	演習	15		2		2					必		
			子ども家庭支援論	講義	15			2	2					必		
			乳児保育 I	講義	15	2			2					必		
		- 1	乳児保育Ⅱ	演習	30	1			1					必		
			障害児保育・特別支援教育	演習	15		2	,	2					必	必	必
専門		- 1	社会的養護Ⅱ	演習	30			1	1					必		-
科			レクリエーション指導法 道徳	演習	30 15			2	2					選必		
目		- 1		講義				2						選必		-
	H	_	多文化理解 教職論	講義 講義	15 15	2	1	4	2 2						選必*2	必
		- 1	教育心理学	講義	15	۷	2		2						選必*1	必必
専	享	- 1	道徳教育の理論と指導法(初等)	講義	15			2	2		Ī				ALK. W. I	必必
F			特別活動指導論(初等)	講義	15		2	· I	2							必
発		- 1	生徒指導論(初等)	講義	15		* +	2	2							必
月			教育方法論(初等) (ICT活用を含む)	講義	15		2		2						選必*4	必
I			教育課程論(初等)	講義	15		2		2						選必*3	必
			教育相談(初等)	講義	15		2		2		Ī				選必*5	必
			国語科指導法	講義	15		2		2		Ī	必修				必
		ſ	社会科指導法	講義	15		2		2			北喀				必
			算数科指導法	講義	15	L	2		2							必
			理科指導法	講義	15		2		2							必
	老言	⊟` -	生活科指導法	講義	15		2		2		Ī					必
		相	音楽科指導法	講義	15			2	2	選択	選択					必
	ì	車	図工科指導法	講義	15			2	2							必
	禾	科	家庭科指導法	講義	15			2	2		Ī					必
	E	- 1	体育科指導法	講義	15			2	2		Ī					必
		- 1	英語科指導法	講義	15			2	2		Ī		l	Van 1		必
		- 1	理科	講義	15	2	-		2		Ī			選必		必
		- 1	社会	講義	15	2	0.1		2		Ī	必修		選必		必
		- 1	家庭	講義	15 15	 	2		2 2		I		I			必必
			英語 図画工作Ⅱ	講義	30	1	_ 4	1	1		Ī		l	選必	選	遊
		- 1	体育Ⅱ(児童)	演習	30		1		1		Ī	選択		194.37)	1985	選
1 1		- 1	第二言語習得論	講義	15		1	2	2		Ī		1			A22
			英語の発音	演習	30		1	- 1	1		Ī	選択				—
		- 1	総合的な学習の指導法	講義	15			2	2		I	必修	1			必
		- 1		演習	30	1		•	1	N 140	N He					
			基礎ゼミI	便日						必修	必修	必修				
			基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅡ	演習	30	1			1							ļ
	7	-			30 30	1	1		1	選択	選択	選択				
	初	研究	基礎ゼミⅡ プレゼミ 専門ゼミ	演習 演習 演習	30 30	1	1	1		選択	選択	選択				
		研究	基礎ゼミII ブレゼミ 専門ゼミ 卒研ゼミ I	演習 演習 演習 演習	30 30 30	1	1	1	1 1 1			選択				
		研究	基礎ゼミⅡ プレゼミ 専門ゼミ	演習 演習 演習	30 30	1	1		1	選択	選択 必修					

			授業	1単位		単位	立数				コース別	必・選			関連資格	
区分	}	学 科 目	形態	当たりの 時間数	1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	幼児教育 コース	学校教育 コース	備考	保育士	幼稚園 (一種)	小学校 (一種)
		保育基礎演習	演習	15		2			2		選択	選択				
		学校教育基礎演習	演習	30		1			1		選択	選択				
		教育実習事前·事後指導(幼稚園)	演習	30			1		1						必	
		教育実習事前·事後指導(小学校)	演習	30			1		1							必
		幼稚園教育実習	実習	40			4		4						必	
		小学校教育実習 I	実習	40			2		2							必
	-	小学校教育実習 Ⅱ	実習	40			2		2							必
	実習	教職・保育実践演習	演習	15				2	2	選択				必	必	必
		保育実習指導I	演習	15		2			2		選択	選択		必		
		保育実習指導Ⅱ	演習	30			1		1					選必		
		保育実習指導Ⅲ	演習	30			1		1					選必		
		保育実習 I (保育所)	実習	40		2			2					必		
		保育実習 I (施設)	実習	40		2			2					必		
		保育実習Ⅱ	実習	40			2		2					選必		
		保育実習Ⅲ	実習	40			2		2					選必		
自由和	SL FI	こどもと絵本I	講義	15			2		2	自由	自由	自由				
н ш т	T [こどもと絵本Ⅱ	講義	15			2		2	E	口田	П				

- *1…「保育の心理学」または「教育心理学」から2単位以上修得
- *2…「保育者論」または「教職論」から2単位以上修得 *3…「保育の計画と評価」または「教育課程論(初等)」から2単位以上修得
- *4…「保育方法論」または「教育方法論(初等)」から2単位以上修得
- **5・・・・「子ども家庭支援の心理学」または「教育相談(初等)」から2単位以上修得 **6・・・「スポーツ実技 I」または「スポーツ実技 I」から1単位以上修得

<卒業要件及び履修方法>

マーススロスンをレクルン リベラルアーツ教育科目については、必修科目11単位、選択科目11単位以上(選択必修科目4単位を含む)と合わせて計22単位以上修得すること。 専門科目については、必修科目20単位を修得し、選択科目86単位以上と合わせて計106単位以上修得すること。 門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

ただし、非要卒科目(自由科目)に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。 その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター (修学担当) にて所定の手続きを行うこと。

<履修科目の登録の上限:48単位(年間)>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

(関連資格について)

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。

資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

人間健康学群

〈2023年度入学生対象

	1,2,	/	E対象 		1 124 februik de 10		単位	.数					関連資格	i
I	区分		学 科 目	授業形態	1単位当たり の授業時間 数	1年	2年	3年 4年	単位計	必・選・自	備考	情報処理士	社会調査士	初級地域 公共政策士
			仏教の人間観I	講義	15	2			2					
	尹 道		仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2			2					<u> </u>
			京都光華の学び	演習	30	1			1			0		ļ
	ブ		アカデミックスキル入門 アカデミックライティング	演習	30 30	1			1	必修		0		
	和目		データサイエンス入門	演習	30	1			1	北市		0		
	_	•	伝統文化	演習	30	1		1	1					
-			総合英語I	演習	30	1		-	1					
			総合英語Ⅱ	演習	30	1			1					
			English in Use A	演習	30		1		1					
	コ		English in Use B	演習	30		1		1					
	3		English in Use C	演習	30		1		1					
	ュニ		English in Use D	演習	30		1		1					
	ケ		English in Use E	演習	30		1		1					
	1	語	English in Use F	演習	30		1		1					
	シ ョ		医療英語	演習	30		1		1					
	ン		中国語 I 中国語 II	演習	30 30		1		1					
			中国品Ⅱ ハングルⅠ	演習	30		1		1					
			ハングルⅡ	演習	30		1		1	選択				
			海外での語学研修	実習	30		2		2					
F			健康の科学	講義	15		2		2			l		
			食生活と健康	講義	15		2		2	1		Ī		
	ス	hats.	生涯スポーツ入門	講義	15		2		2					
	スポー	健 康	スポーツ実技I	実習	30	1			1					
	ホーツ	E	スポーツ実技Ⅱ	実習	30		1		1					
	9		アダプテッドスポーツ	実習	30		1		1					
			マインドフルネス	実習	30		1		1					
L			教養囲碁入門	実習	30		1		1					
			哲学と倫理 くらしのなかの宗教	講義	15 15		2		2					
			仏教文化	講義	15		2		2					
			文化人類学	講義	15		2		2					
IJ			言語と文学	講義	15		2		2					
ベラ			日本文化の理解	講義	15		2		2					
ル		I 群	京都の歴史と文化	講義	15		2		2	選択必修 2単位				
アー		1417	芸術文化論	講義	15		2		2	271111				
ッ			サブカルチャー論	講義	15		2		2					
教			現代アジア事情	講義	15		2		2					
育 科	人文		現代欧米事情	講義	15		2		2					
目	•		国際社会の理解	講義	15		2		2					0
	社会		国際社会とジェンダー	講義	15		2		2					
	•		心理学	講義	15 15		2		2					
	自如		社会学 日本国憲法	講義	15		2		2					
	然		現代社会と法	講義	15		2		2					
			現代社会と政治	講義	15		2		2					
			くらしのなかの経済学	講義	15		2		2					
		II 群	くらしのなかの統計学	講義	15		2		2	選択必修 2単位		0		
		471	情報社会の理解	講義	15		2		2			0		
			生命の科学	講義	15		2		2					
			生活と物理・化学	講義	15		2		2			ļ		ļ
			地域と環境	講義	15		2		2			<u> </u>		
			生活と防災	講義	15		2		2			 		-
F			ボランティア論 情報リテラシー	講義	15 30	1	١		2			0		
	#	F	情報サアフシー情報技術の理解	演省 講義	30 15		2		2			0		
	7	r	数的処理の基礎	演習	30		1		1					
	リテ		読解と思考の技法	演習	30		1		1					
	ラ	ř	Webデザイン	演習	15		2		2	選択		Ì		
	† 1		産官学連携プロジェクト	演習	15		2		2					
	ک		キャリア実習	演習	30		1		1					
			インターンシップ	実習	30			2	2					0
	ン	デー	データサイエンスのための数学	講義	15		2		2]				
		タ	プログラミング入門	演習	15		2		2	Naa to-				
	Δ	サイ	AIへのアプローチ	講義	15		2		2	選択		0		
	I	イェ	データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2		2			0		
-			データサイエンスPBL	演習	15	,	2	ļ	2			0		-
			日本語FⅡ 日本語FⅢ	演習	30 30	1			1			l		
	督	2	日本語S I	演習	30	1	1		1	外国人		 		
	等	学	日本語SⅡ	演習	30	-	1		1	留学生		-		
	生	E.	日本事情 I	演習	30	1	-		1	必修				
- 1			日本事情Ⅱ	演習	30	1			1	1		1		

				1 124 februik ab., to		単位	立数						関連資格	+
	区分	学 科 目	授業形態	1単位当たり の授業時間 数	1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	情報処理士	社会調査士	初級地域 公共政策士
		基礎ゼミI	演習	30	1		ı		1					
		基礎ゼミⅡ	演習	30		1			1					
	専	健康管理論 仏教と社会福祉	講義	15	2	2			2	必修				
	門	心理学概論	講義	15 15	2	2			2	北川多				
	基礎	食生活論	講義	15		2			2					
	WE	公衆衛生学	講義	15		2			2					
		社会調査入門	講義	15		2			2				0	
		専門職の連携 (基礎)	講義	15	4	2			2					
		社会福祉の原理と政策 I	講義	15		2			2					0
		社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	15		2			2	必修				0
		社会的処方	講義	15			2		2					0
		地域福祉と包括的支援体制 I	講義	15			2		2					0
	福	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	15		4	2		2	vaa tee				0
	祉	社会保障論	講義	15			2		2	選択				
	と 政	高齢者福祉	講義	15		4	2 2		2					0
	策	子ども家庭支援論 ソーシャル・マネジメント原論	講義	15 15		2			2	必修		1		0
		地域公共政策	講義	15		2	2		2	心形		1		0
		社会と環境	講義	15			2		2			1	1	0
		ソーシャルビジネス	講義	15			2		2	選択		1		0
		ソーシャル・ビジネス演習	演習	30			1		1			0		0
f		社会心理学入門	講義	15		2			2			1		
		臨床心理学入門	講義	15		2			2	必修		Ī		
		発達心理学入門	講義	15		2			2					
	人	青年心理学	講義	15		4	2		2					
	と 心	子どもと人間関係	演習	15			2	1	2					
	理	学習・言語心理学	講義	15			2		2	選択				
		産業・組織心理学	講義	15			2		2	A2.17				
		環境心理学	講義	15			2		2					
_		子ども家庭支援の心理学	講義	15			2		2					0
		生命科学の基礎	講義	15	2				2	必修				
		食品学 I 食品学 II	講義	15	2		2		2	選択				
	食	食品衛生学	講義	15 15		_	2		2	選択				
	ベ 物	食マーケティング論	講義	15		Ĺ	2	,	2	選択				
	ځ	基礎栄養学I	講義	15		2	Ĭ		2	必修				
#	栄	基礎栄養学Ⅱ	講義	15			2		2	選択				
専門	養	応用栄養学 I	講義	15			2	!	2	選択				
科		公衆栄養学	講義	15			2		2	選択				
目		子どもの食と栄養	演習	15			2		2	選択				
Ī	ナュ	専門演習 I	演習	30			1		1	必修		0		
	ナードル	専門演習Ⅱ	演習	30			1		1	必修		0		
Ĺ	ル`	卒業研究	演習	30	<u> </u>	_		4	4	必修				
		女性と現代社会	講義	15			2		2	選択		1		
		女性とメディカル	講義	15			2		2	選択		1		
		女性と経済	講義	15		L	2		2	選択		1	1	
		女性のアントレプレナーシップ	講義	15	!		2		2	選択		+		
		労働と法規 労働社会学	講義	15 15	1		2		2	選択		1		
		大側任芸子 人体の構造と生理 I	講義	15		2	2		2	選択		1		
		人体の構造と生理Ⅱ	講義	15			2		2	選択		-	<u> </u>	
		生活習慣病論	講義	15			2	!	2	選択		1		
		生涯スポーツ論	講義	15	2	2			2	選択				
		生涯スポーツ実習	実習	30			1		1	選択		1		
	関	スポーツマネジメント論	講義	15			2		2	選択		Ī		
	連 科	社会調査法	講義	15			2		2	選択			0	
	目	社会調査実習 I	実習	30			1		1	選択			0	
		社会調査実習Ⅱ	実習	30	<u> </u>		1		1	選択			0	
		データサイエンス実践	演習	15		2			2	選択			0	
		データサイエンス発展	演習	15			2		2	選択		_	0	
		ビジネスデータ分析基礎	演習	15	ļ .	0	2		2	選択		0	0	
		教育原理	講義	15	-	2	0		2	選択				
		教育心理学	講義	15 15			2		2	選択		+	1	
		特別支援教育教育の制度・運営	講義	15		-	2		2	選択		-	-	
		秋月が削及・理呂										+		
		多文化理解	985 AK	1.5					9					
		多文化理解 人権教育	講義	15 15			2		2	選択				

			1単位当たり		単化	立数						関連資格	
区分	学 科 目	授業形態	の授業時間数	1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	情報処理士	社会調査士	初級地域 公共政策士
	メディカルクラーク I	講義	15			2		2	自由				
	メディカルクラーク Ⅱ	講義	15			2		2	自由				
	メディカルクラーク応用	講義	15			1		1	自由				
自由	ドクターズクラーク I	講義	15			2		2	自由				
科	ドクターズクラーク Ⅱ	講義	15			2		2	自由				
B	健康政策特別演習 I	演習	30		1			1	自由				
	健康政策特別演習Ⅱ	演習	30			1		1	自由				
	健康政策特別演習Ⅲ	演習	30			1		1	自由				
	健康政策特別演習IV	演習	30				1	1	自由				

<卒業要件及び履修方法>

マエネスロンへを受けない。 リベラルアーツ教育科目:32単位以上(必修11単位、選択21単位以上)、専門科目96単位以上(必修38単位、選択58単位以上 (選択科目は福祉と政策から8単位以上、人と心理、食べ物と栄養の区分からそれぞれ6単位以上)修得し、128単位以上修得すること。なお、他学部科目の修得単位は10単位までとする。

<履修登録単位の上限>

★保修正本年近の上版と 各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。 ただし、非要卒科目(自由科目)に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。 その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター(修学担当)にて所定の手続きを行うこと。

<履修登録上限単位の緩和>

2020 年度入学生より、学期GPA が「3.3 以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P.5を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター(修学担当)にて所定の手続きを行うこと。

別表 2

	学部・学群	学科	単位数
	キャリア形成学部	キャリア形成学科	128
		健康栄養学科	128
卒業所要	健康科学部	看護学科	128
単位	() () () () () () () () () () () () () (心理学科	128
		医療福祉学科	128
	こども教育学部	こども教育学科	128
	人間健康学群		128

別表3

科目等履修生選考料		10,000円
科目等履修料	1単位につき	10,000円

別表4

聴講生選考料		5,000円
聴講料	1単位につき	5,000円

別表 5

入学検定料	35,000円
-------	---------

別表6

別表 7

	キャリア形成学部 キャリア形成学科	前期	575,000円
		後期	575,000円
	健康科学部 健康栄養学科	前期	600,000円
		後期	600,000円
	健康科学部	前期	720,000円
	看護学科	後期	720,000円
	健康科学部 心理学科	前期	575,000円
授業料		後期	575,000円
	健康科学部 医療福祉学科社会福祉専攻	前期	575,000円
		後期	575,000円
	健康科学部 医療福祉学科言語聴覚専攻	前期	610,000円
		後期	610,000円
	こども教育学部 こども教育学科	前期	580,000円
		後期	580,000円
	人間健康学群	前期	625,000円
		後期	625,000円

- (注) 2年次以降の授業料は毎年、原則として、前年度の授業料の額に、前年度 国家公務員の給与改訂に関する人事院勧告指数と教育研究条件改善費4%を乗じ て得た額を加算した額とする。 (注2) 休学在籍料は、100,000円(半期<6ヶ月>)とする。

別表8

	健康科学部 健康栄養学科管理栄養士専攻	前期	25,000円
		後期	25,000円
	健康科学部 健康栄養学科健康スポーツ栄養専攻	前期	10,000円
実験実習料		後期	10,000円
子 歌天白竹	健康科学部 看護学科	前期	125,000円
		後期	125,000円
	健康科学部 医療福祉学科言語聴覚専攻	前期	90,000円
		後期	90,000円

別表 9

再入学検定料	5,000円

京都光華女子大学助産学専攻科規則

(目的)

第1条 この規則は、京都光華女子大学(以下「本学」という。)学則第6条第2項の規定に基づき、本学助産学専攻科(以下「専攻科」という。)について必要な事項を定める。

(専攻科の目的)

第2条 専攻科は、社会が期待する高度な専門的知識と実践力とともに、多職種との連携調整力 を備えた質の高い助産師の養成を行うことを目的とする。

(組織及び定員)

- 第3条 専攻科に、専攻科長と必要な専任教員をおく。
 - 2 専攻科の定員は、次のとおりとする。

	入学定員	収容定員
助産学専攻科	10名	10名

(修業年限及び在学年限)

第4条 専攻科の修業年限及び在籍年限は、1年とする。

(授業科目等)

第5条 専攻科の授業科目および単位数は、別表1のとおりとする。

(履修方法)

第6条 学生は、別表1に定める授業科目を履修し、36単位以上を修得しなければならない。

(修了の認定)

第7条 専攻科に1年在学して第6条に規定する単位以上を修得した者については、大学運営会議の議を経て、学長が修了を認定し、修了証書を授与する。

(資格の取得)

第8条 専攻科において、所得できる資格は、次のとおりとする。

	資格	
助産学専攻科	助産師国家試験受験資格	

(入学資格)

- 第9条 専攻科に入学することのできる者は、看護師免許を有する者または看護師国家試験受験 資格を有する者(受験資格取得見込み者を含むが、入学時には看護師国家試験に合格し ている)で、次の各号のいずれかに該当する女子とする。
 - (1) 大学を卒業した者
 - (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行なう通信教育における授業科目を我が国において履修することにより 当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設にあって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程

を修了した者

- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)

(入学者の選考)

- 第10条 入学志願者に対しては選考試験を行う。その要項は別に定める。
 - 2 入学志願者は所定の入学願書・出身学校の調査書に別表2の入学検定料を添えて提出しなければならない。一旦提出した出願書類及び検定料は、これを返還しない。

(入学手続)

- 第 11 条 第 10 条に定める選考試験に合格した者は、指定期日までに別表 2 の入学金、授業料、施設設備費及び実験実習料前期分を納付するとともに、所定の保証書を提出しなければならない。
 - 2 第1項の手続を完了した者に入学許可を与える。
 - 3 入学許可を得た者は、指定期日までに所定の健康診断書・住民票記載事項証明書を提出しなければならない。

(学費)

- 第12条 授業料等は別表2のとおりとし、指定の期日までに納付しなければならない。
 - 2 授業料等は、出席の有無にかかわらず学籍のある間はこれを納付しなければならない。 ただし、休学中は別に定める在籍料を納付しなければならない。
 - 3 一旦納付した授業料その他の学費は、事情のいかんにかかわらずこれを返還しない。

(改廃)

第13条 この規則の改廃については、大学運営会議の議を経て、理事会で審議・決定する。

(諸規程の準用)

第14条 本規則に定めのない事項に関しては、本学学則およびその他の諸規程を準用する。

附則 この規程は、平成30年4月1日から施行する。 この規程は、2021年4月1日から施行する。

2023度 助産学専攻科 カリキュラム

科目区分	授業科目	授業形態	1単位当たりの 授業時間数	単位	必・選
	助産学概論	講義	15	2	
	周産期の生理と病態 I (妊娠・分娩・産褥)	講義	15	1	
	周産期の生理と病態Ⅱ(胎児・新生児)	講義	15	1	
	乳幼児と家族の発達論	講義	15	1	必修
	生殖医療と生命倫理	講義	15	1	北修
	ウィメンズヘルスケア論	講義	15	1	
	家族計画論	講義	15	1	
	仏教の人間観 I	講義	15	2	
	仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2	選択
助 産	助産診断・技術学 I (妊娠期)	講義	15	2	必修
師	助産診断・技術学Ⅱ(分娩期)	講義	15	2	
課 程	助産診断・技術学Ⅲ(産褥・新生児期)	講義	15	2	
	助産診断・技術学演習 I (助産の基本技術)	演習	30	1	
	助産診断・技術学演習Ⅱ(特別演習)	演習	30	1	
	国際母子保健	講義	15	1	
	地域母子保健	講義	15	1	
	助産管理	講義	15	2	
	助産学実習 I (病院での助産実践)	実習	45	9	
	助産学実習Ⅱ(地域での助産実践)	実習	45	3	
	助産学研究 I (助産学研究の基礎)	講義	15	1	
	助産学研究Ⅱ(論文作成)	演習	30	1	

<修了要件及び履修方法> 必修科目34単位、選択科目2単位を履修し、合計36単位以上修得すること。